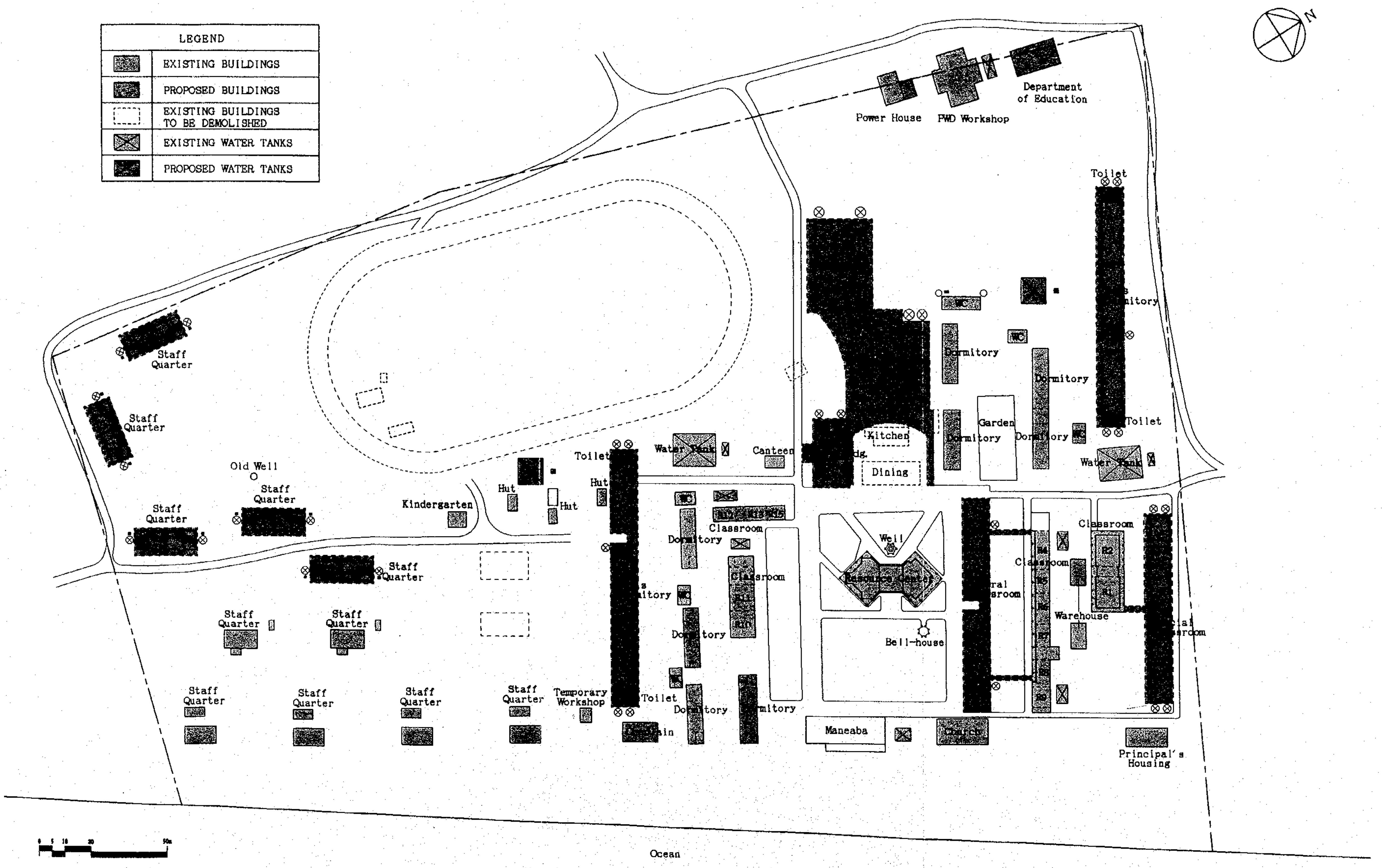
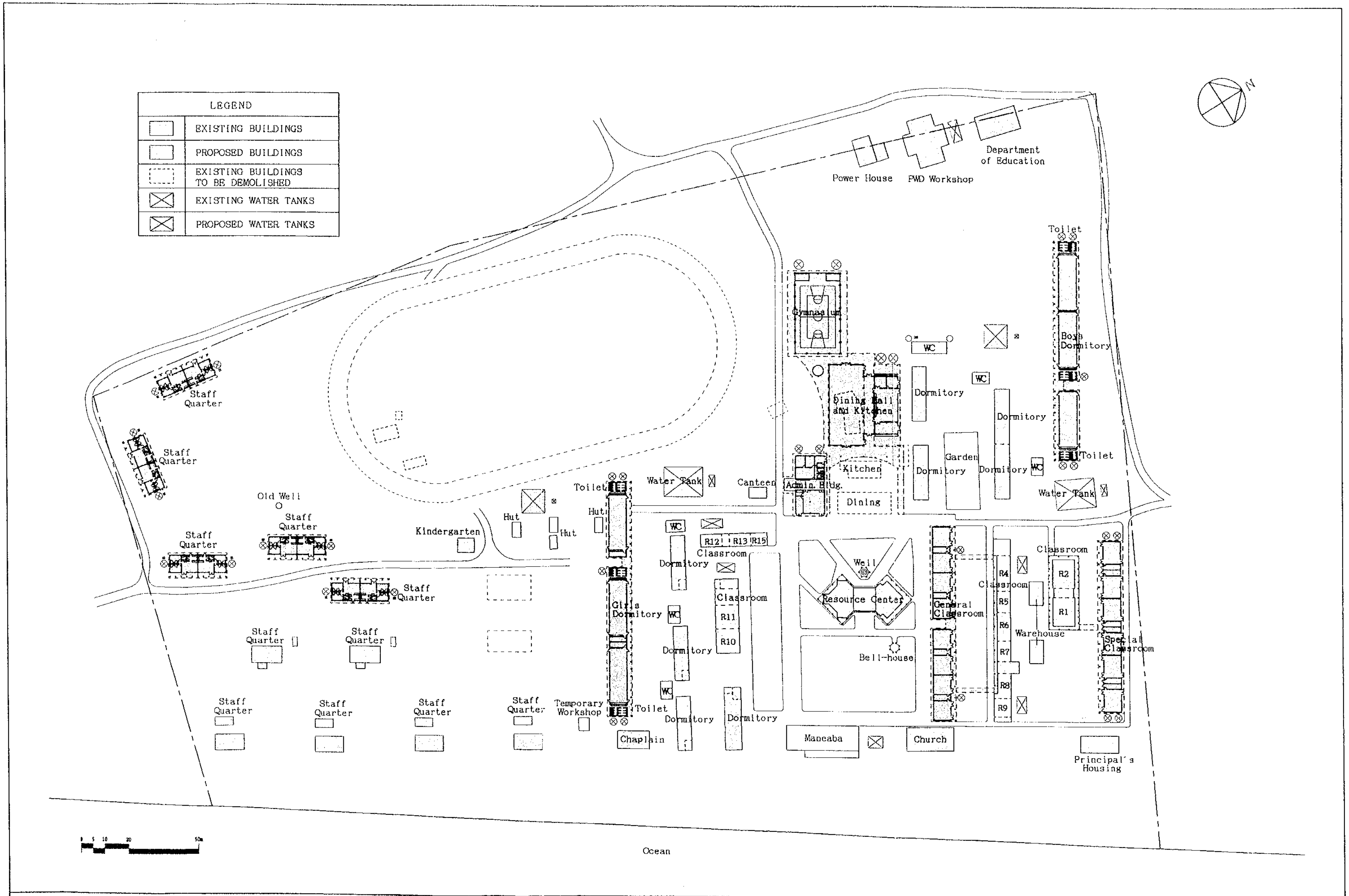
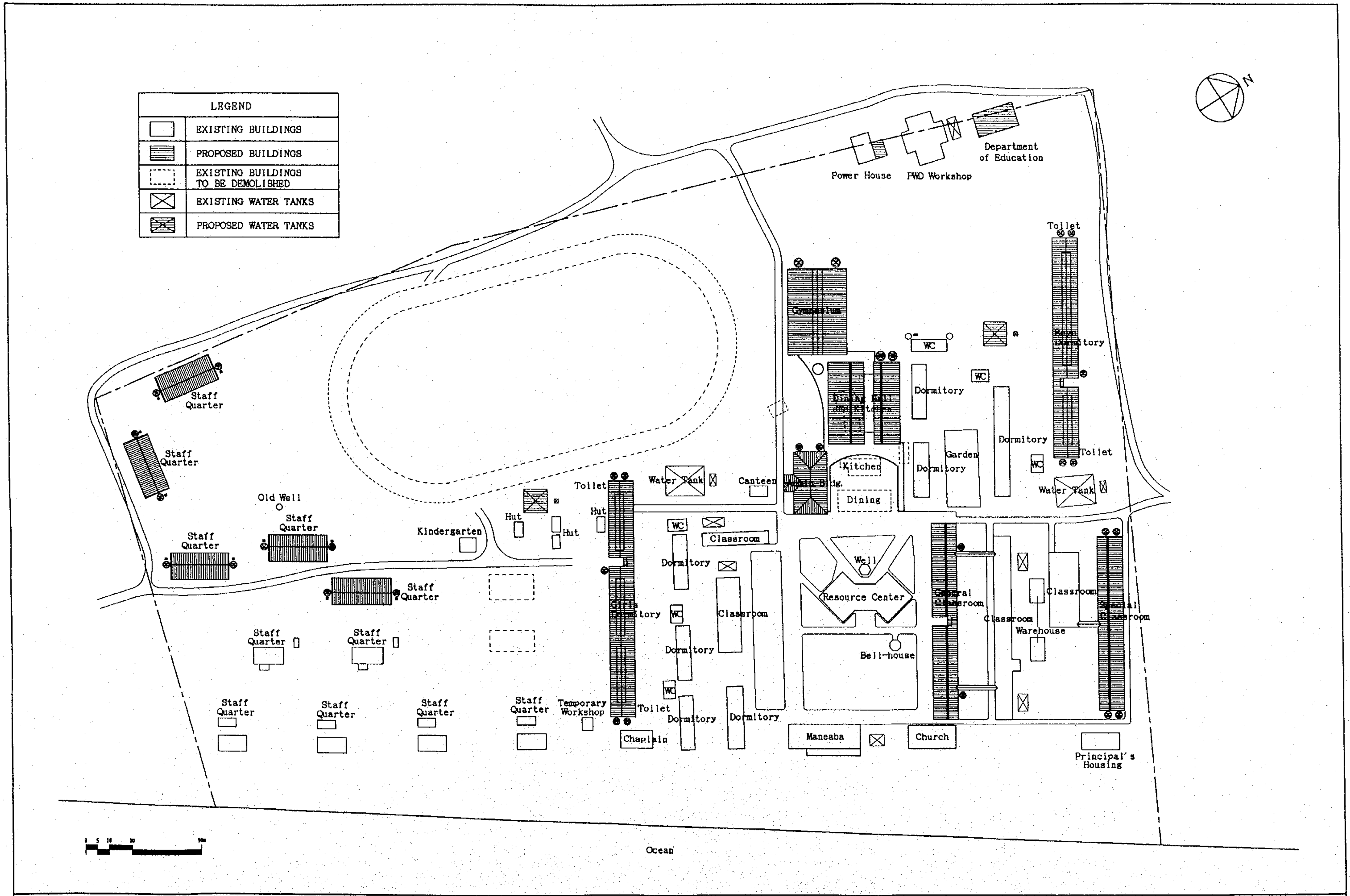
(8) 基本設計図



UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	SITE PLAN (FACILITY LAYOUT PLAN)		
		Scale:	Date: 94. 10. 27	Dwg. No. A-1



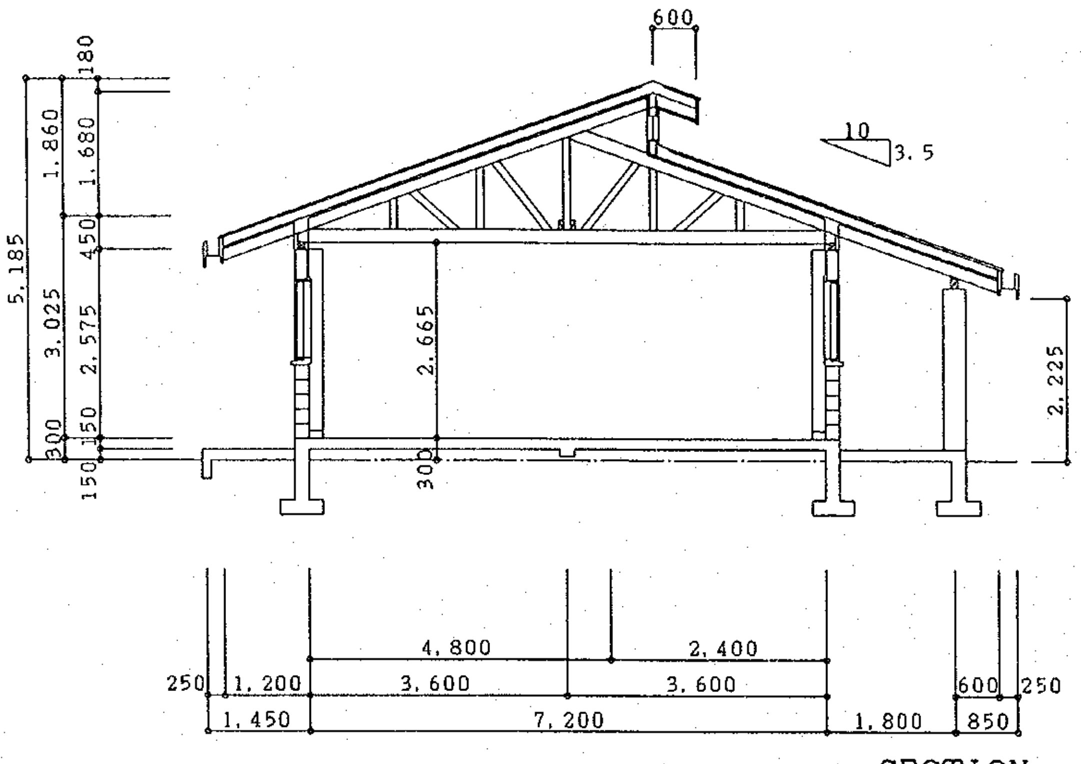
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	SITE PLAN (FACILITY LAYOUT PLAN)
		Scale: Date: 94. 10. 27 Dwg. No. A-1



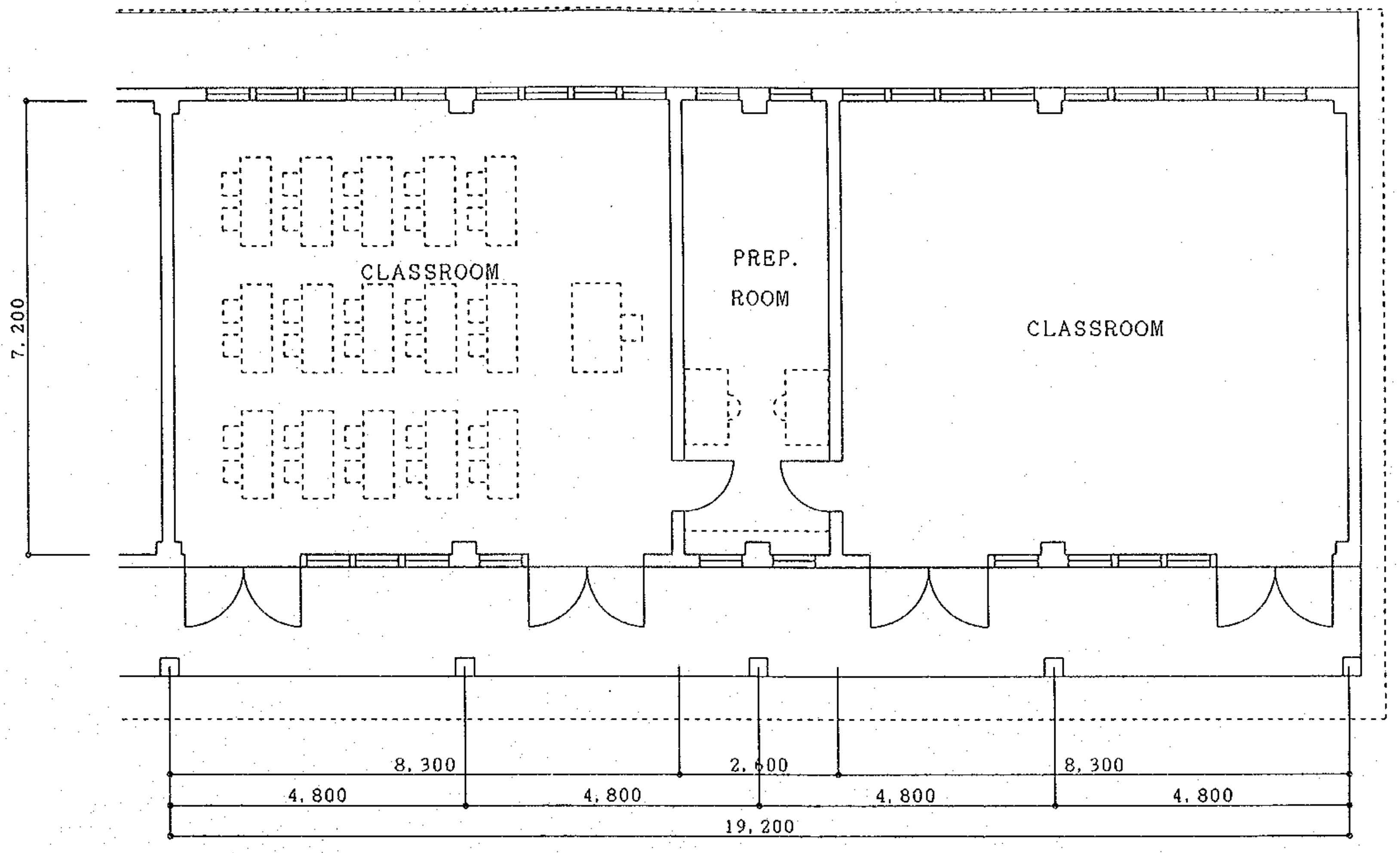
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES
AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL

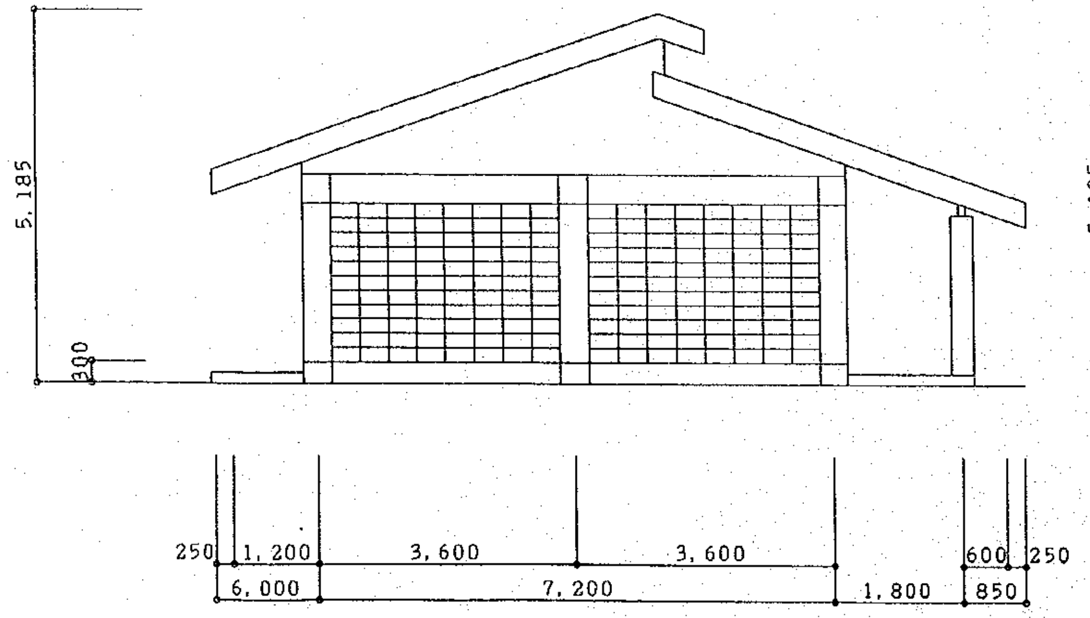
PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL

ROOF PLAN		
Scale:	Date: 94. 10. 27	Dwg. No. A-2

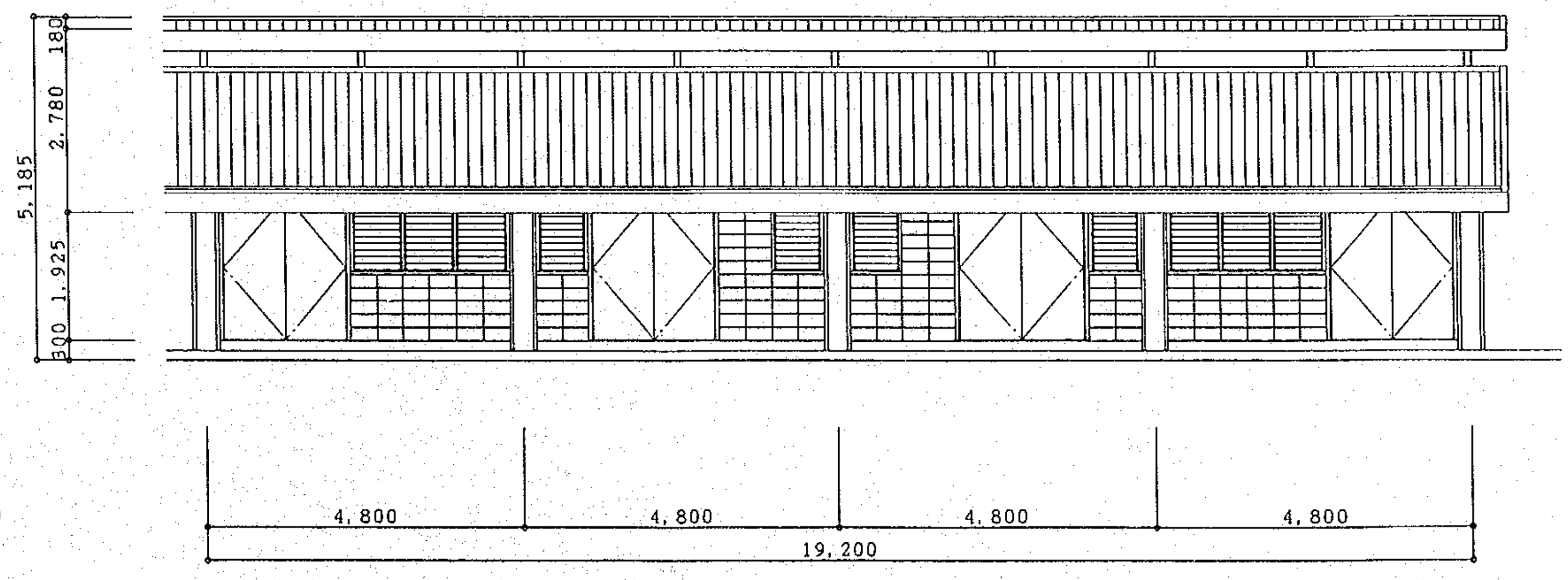


SECTION



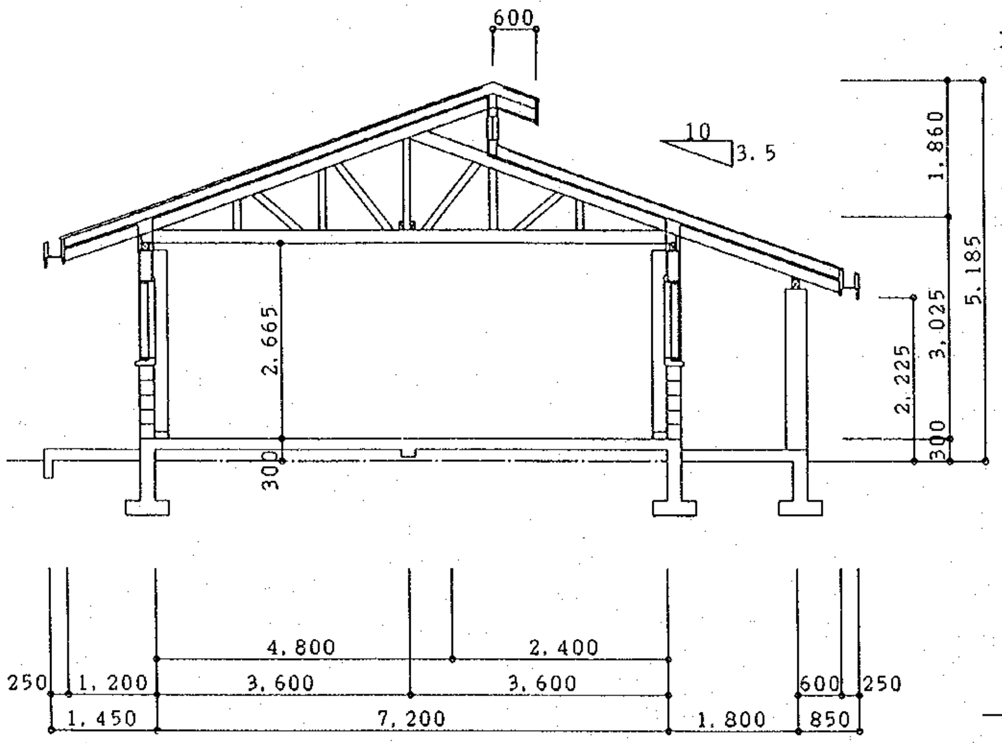


SIDE ELEVATION

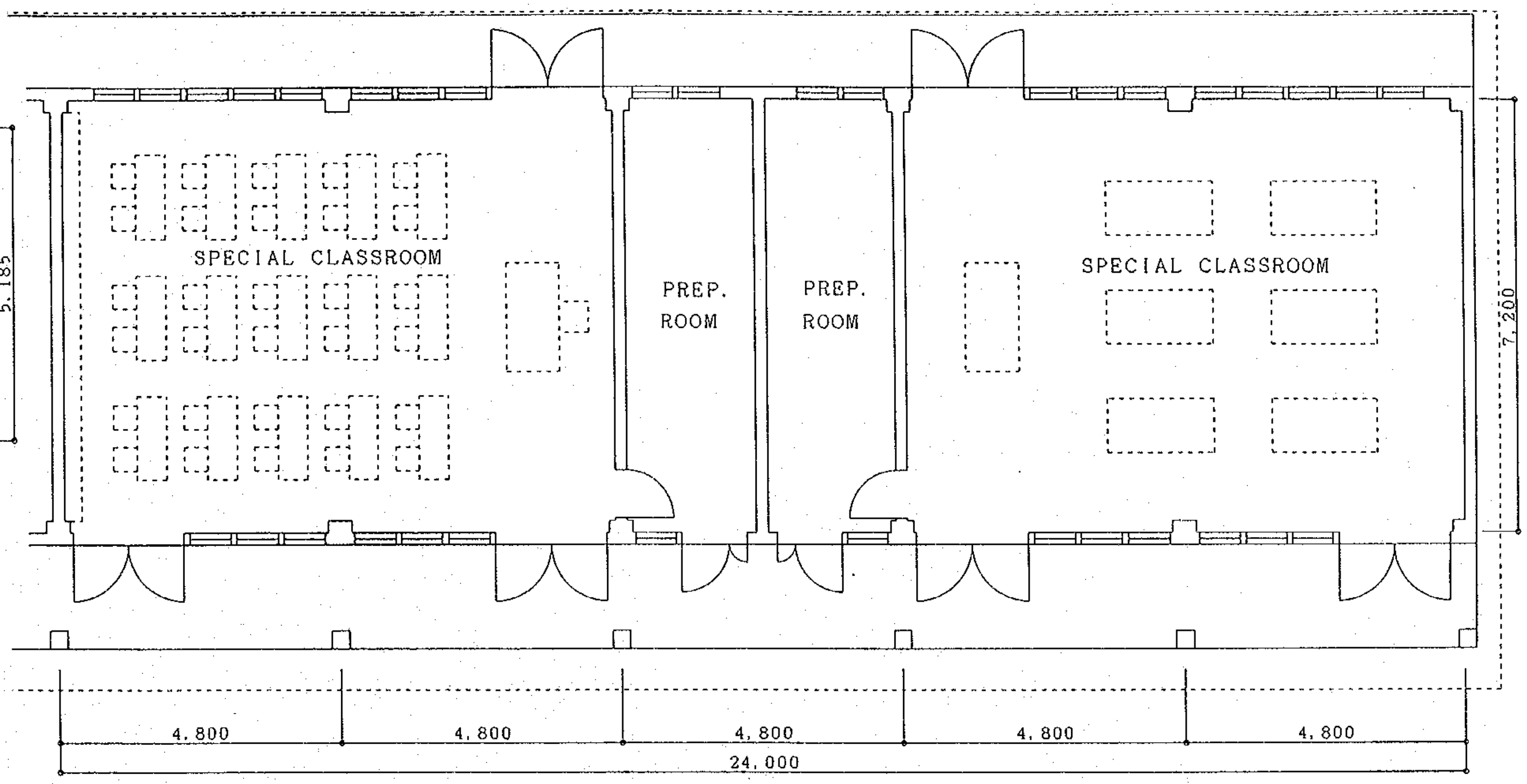


ELEVATION

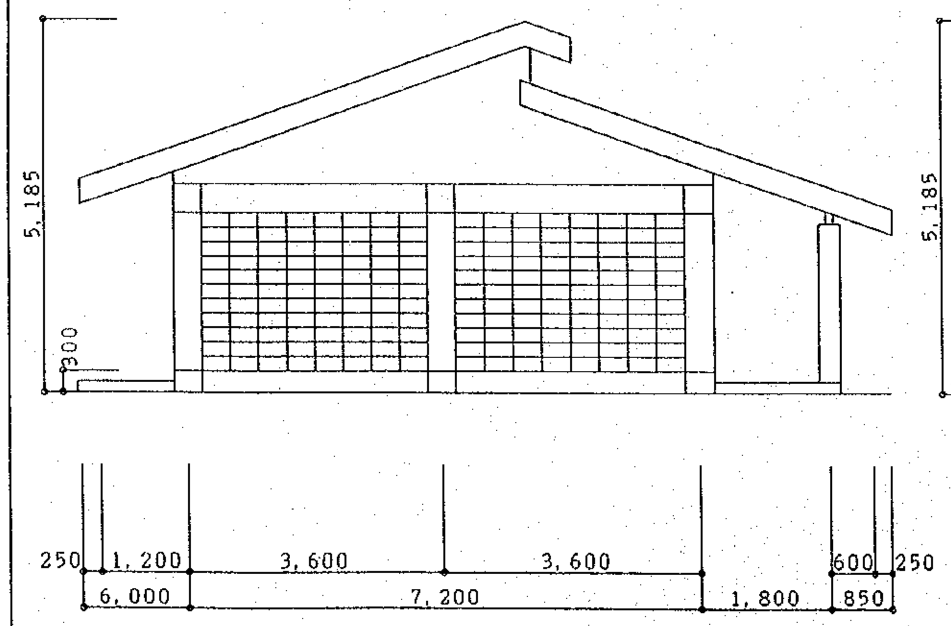
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: GENERAL CLASSROOM Scale: 1/100 · Date: 94. 9. 14 · Dwg. No. A-3



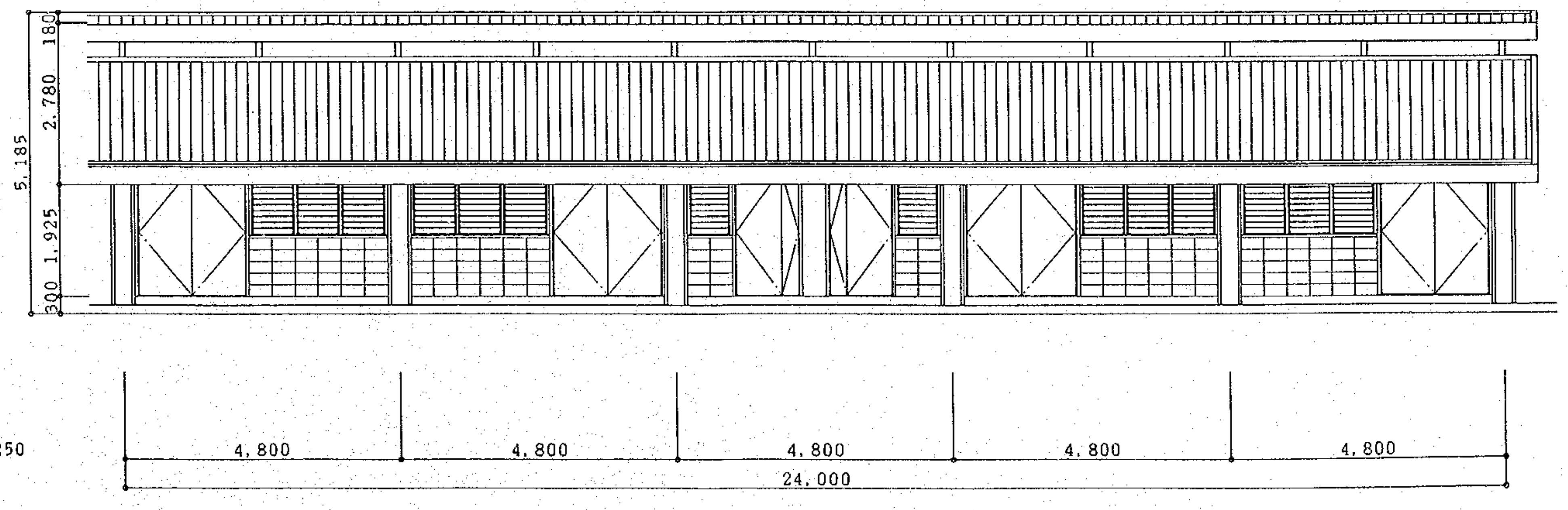
SECTION



PLAN

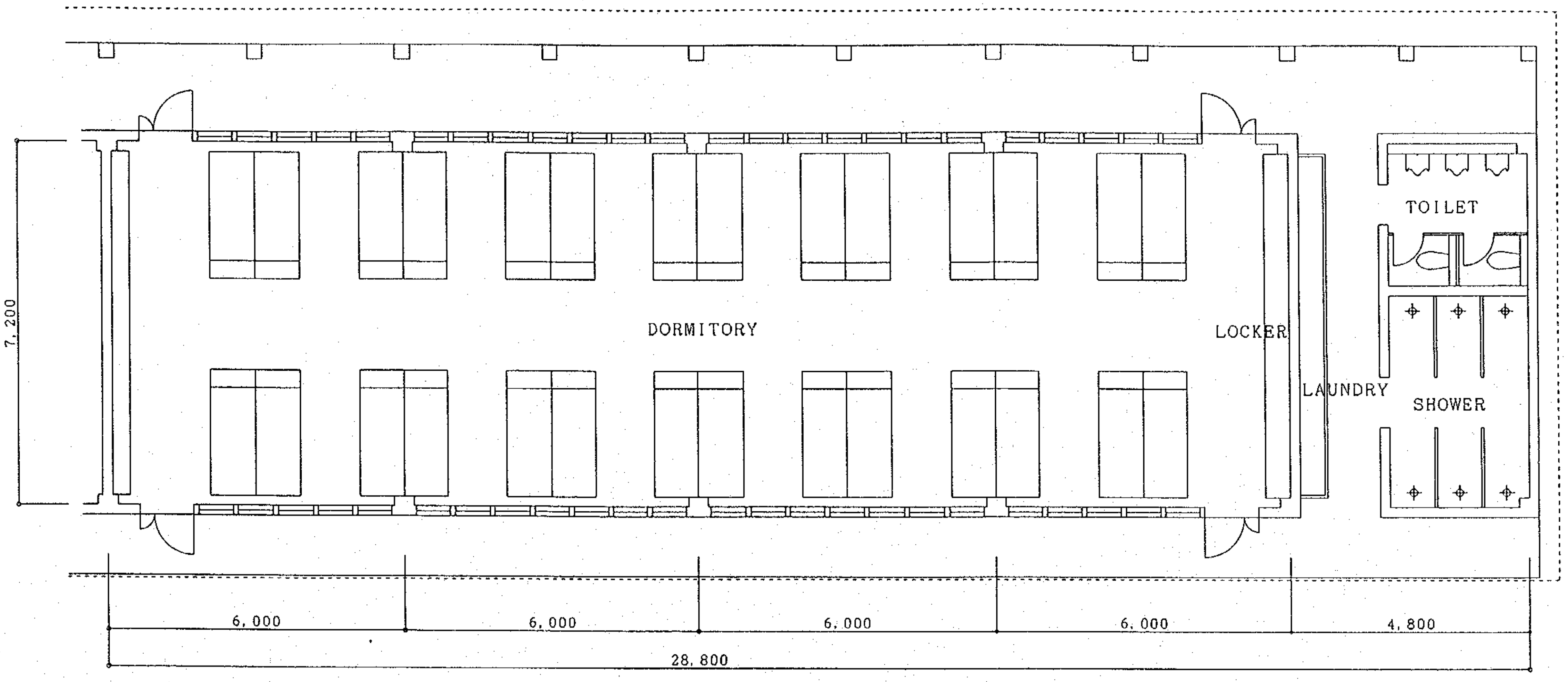


SIDE ELEVATION

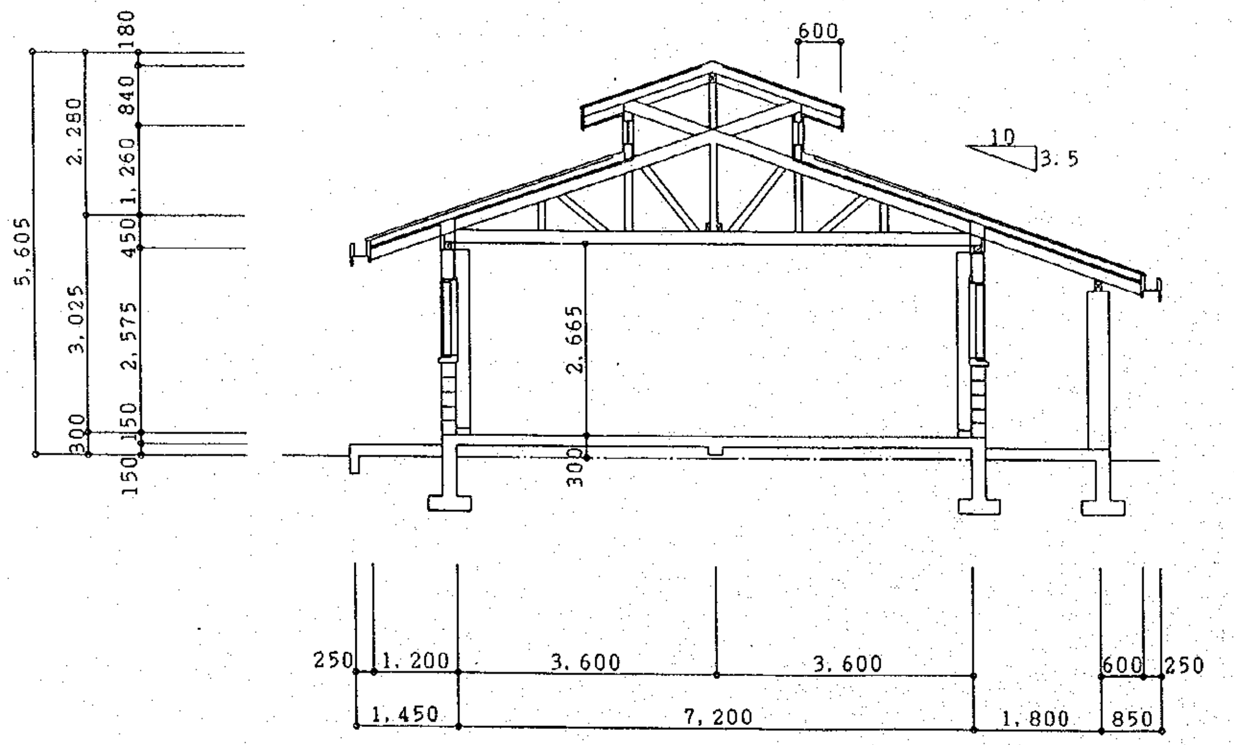


ELEVATION

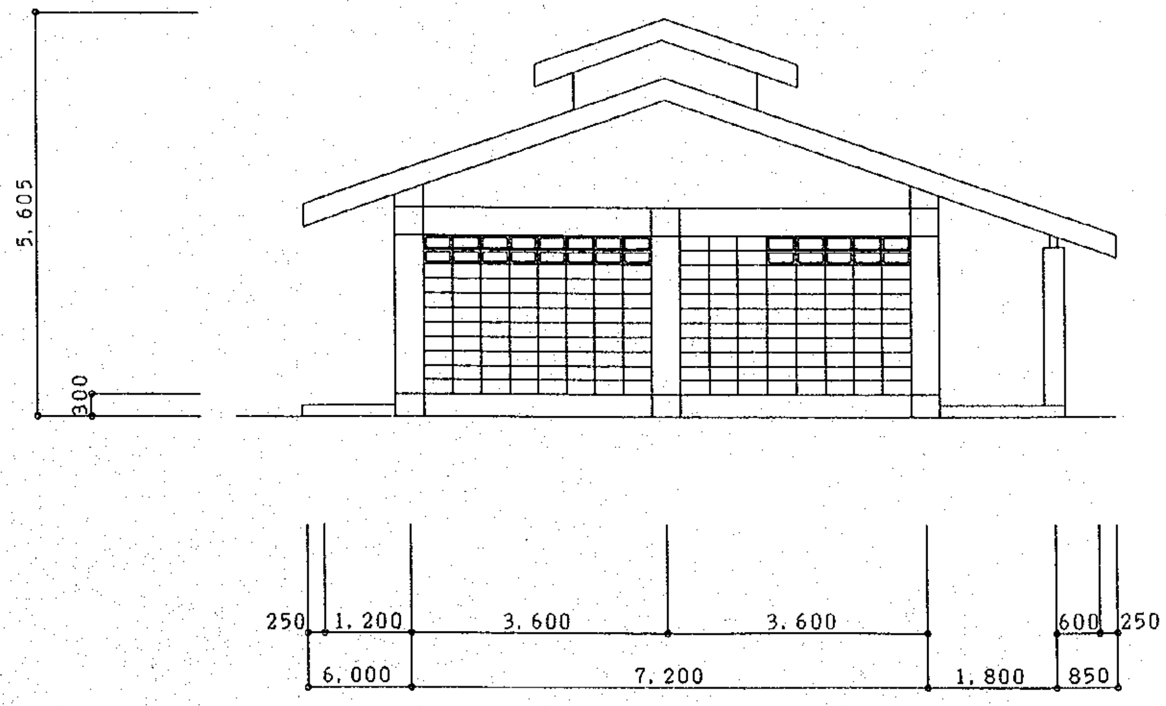
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: SPECIAL CLASSROOM		
		Scale: 1/100	Date: 94. 9. 14	Dwg. No. A-4



PLAN

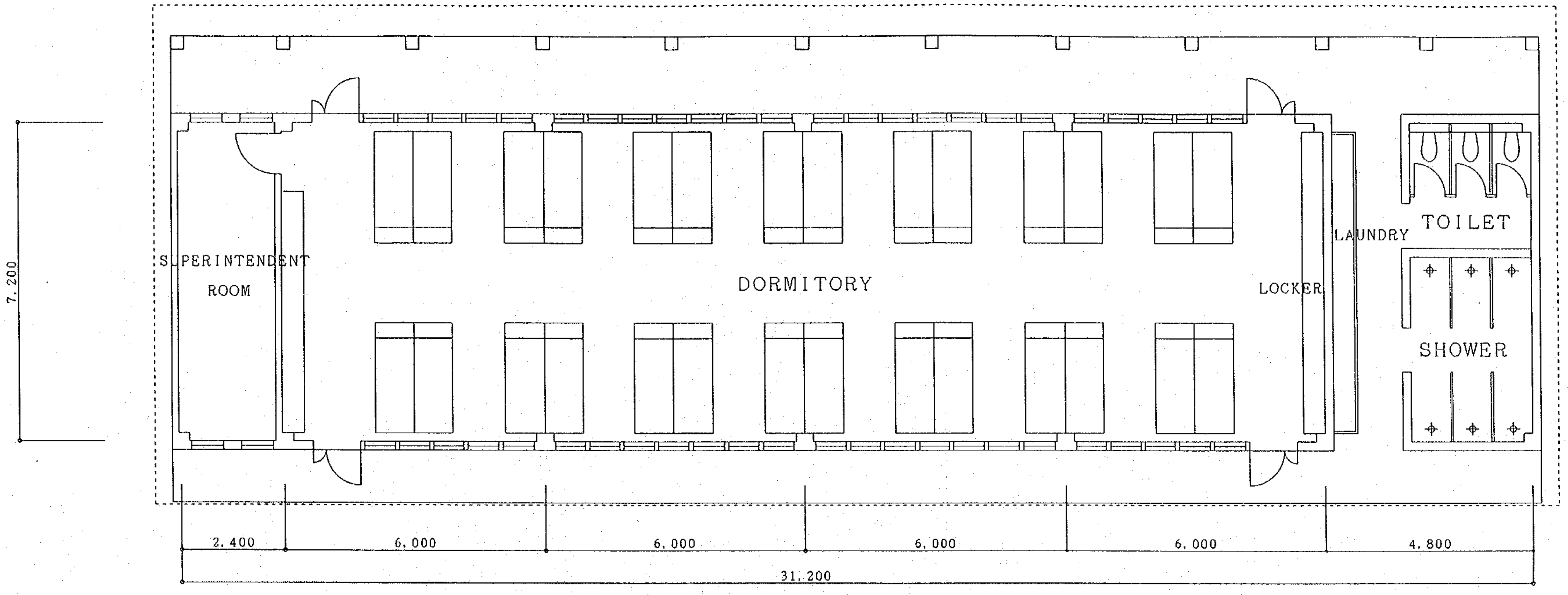


SECTION

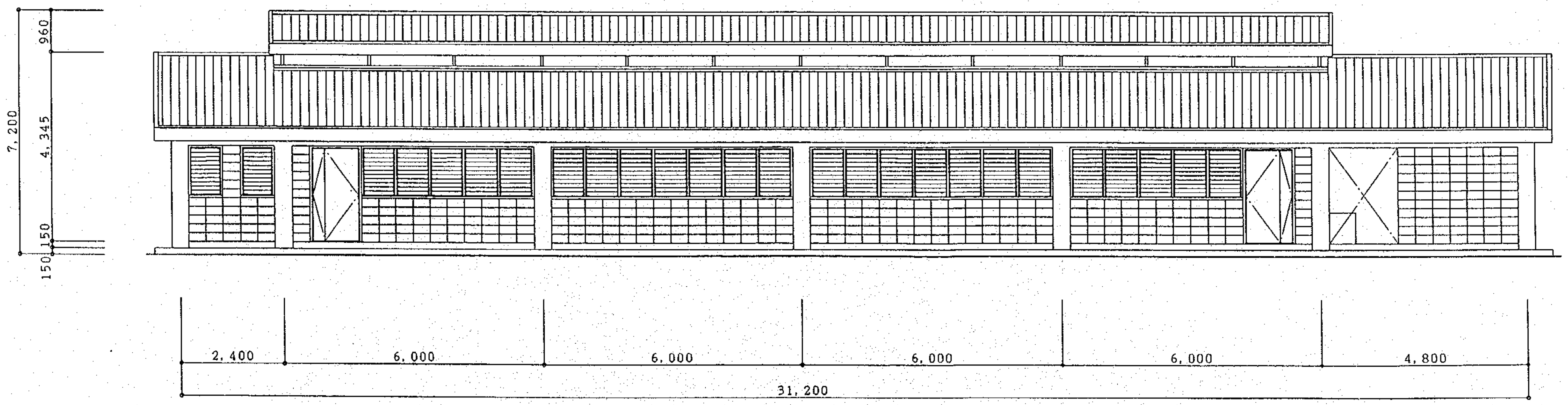


SIDE ELEVATION

UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: BOYS DORMITORY
		Scale: 1/100 Date: 94. 9. 14 Dwg. No. A-5

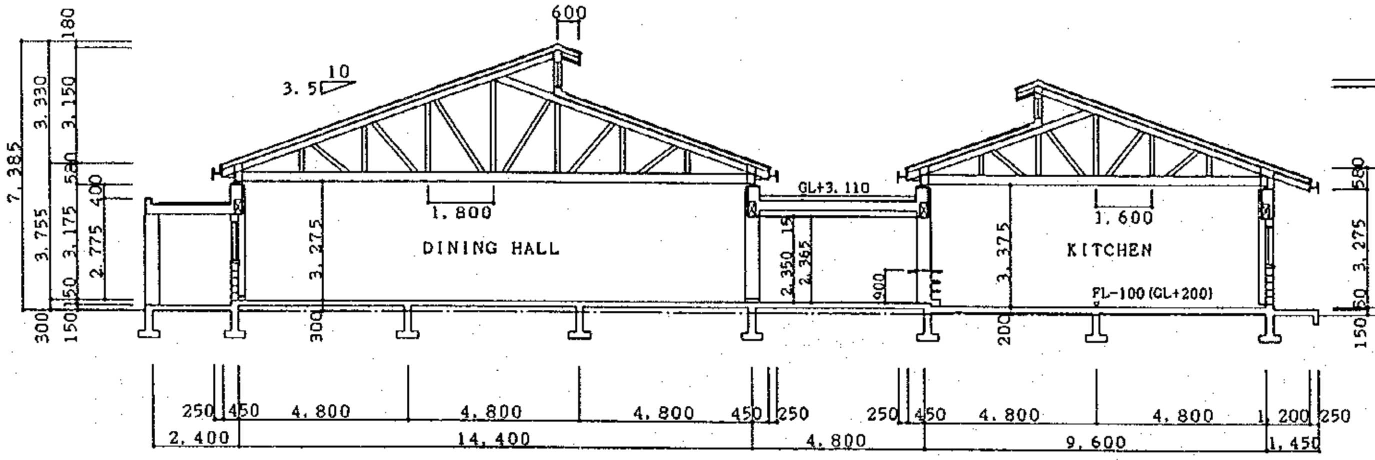


PLAN

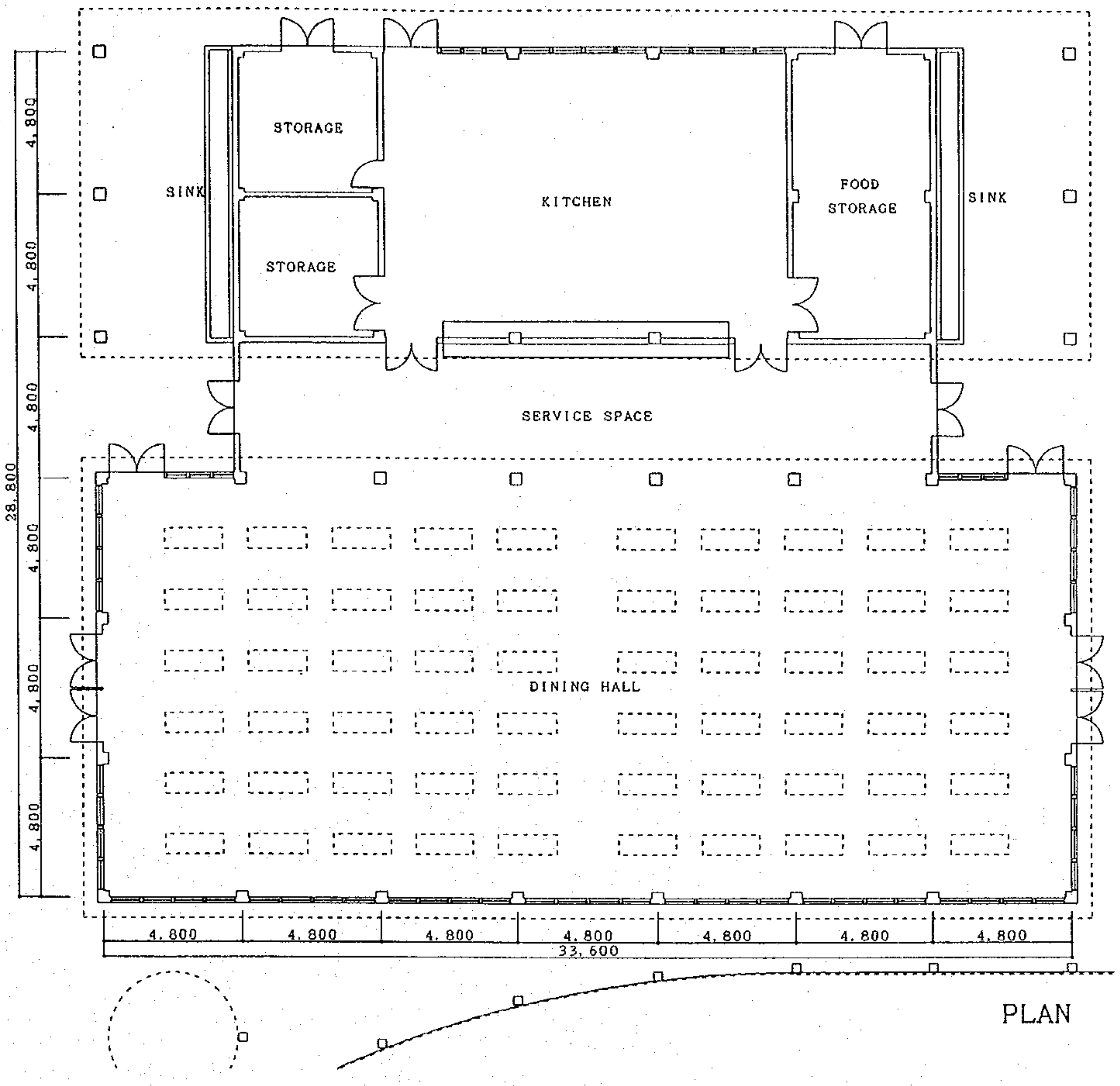


ELEVATION

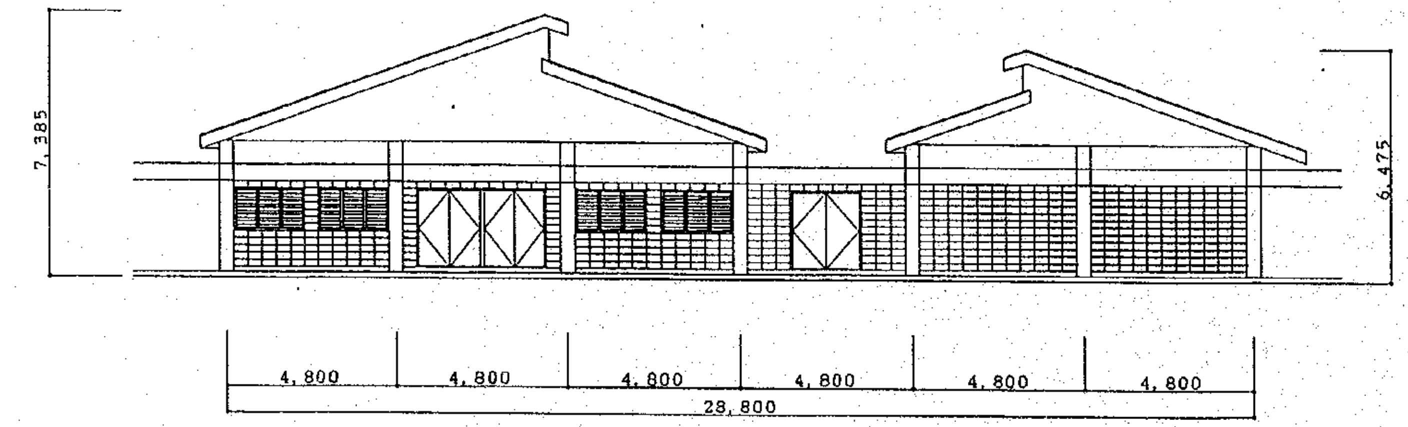
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: GIRLS DORMITORY	
		Scale: 1/100	Date: 94. 9. 14 · Dwg. No. A-6



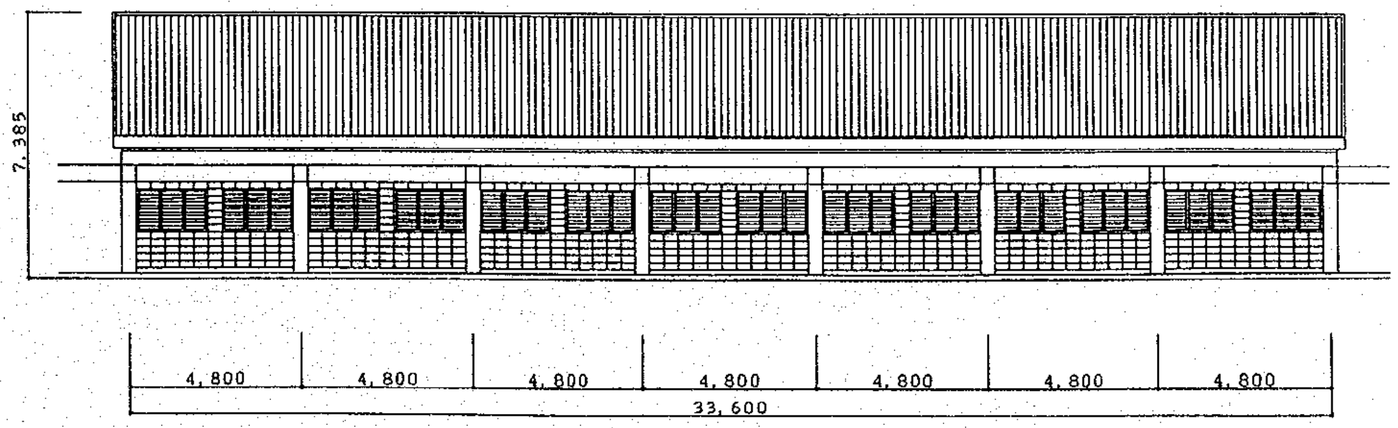
SECTION



PLAN

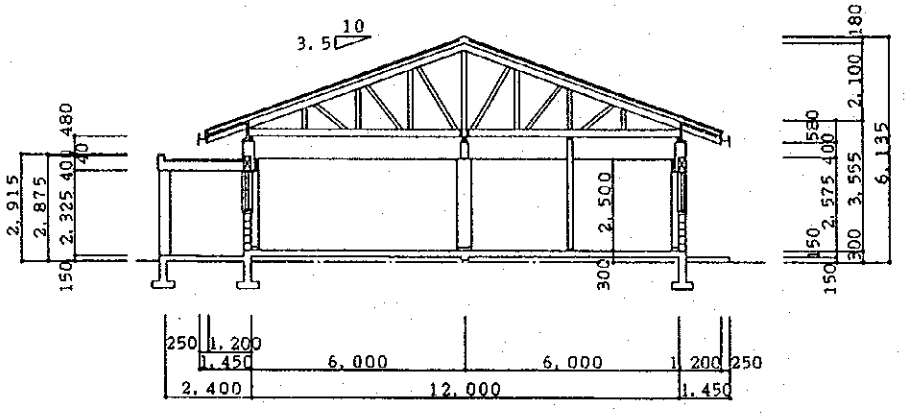


SIDE ELEVATION

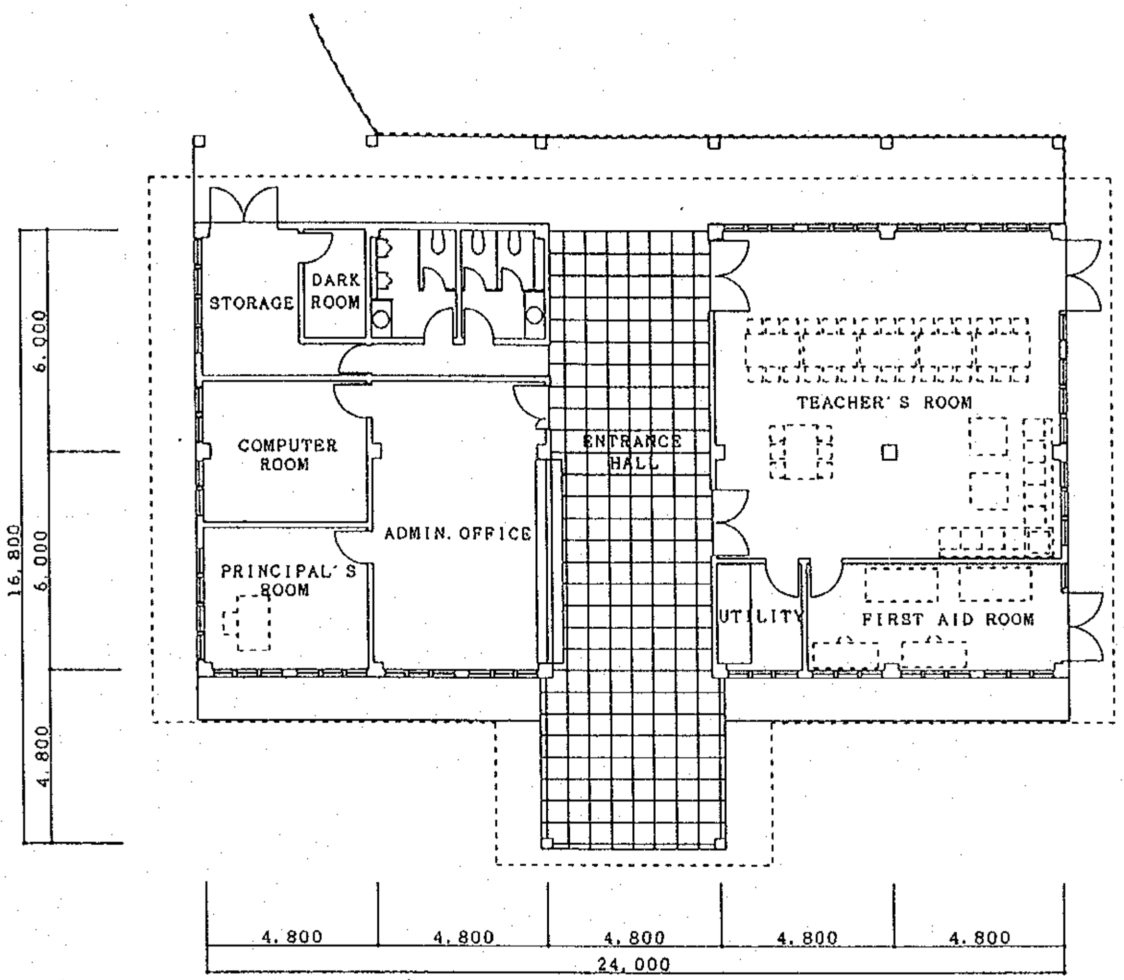


ELEVATION

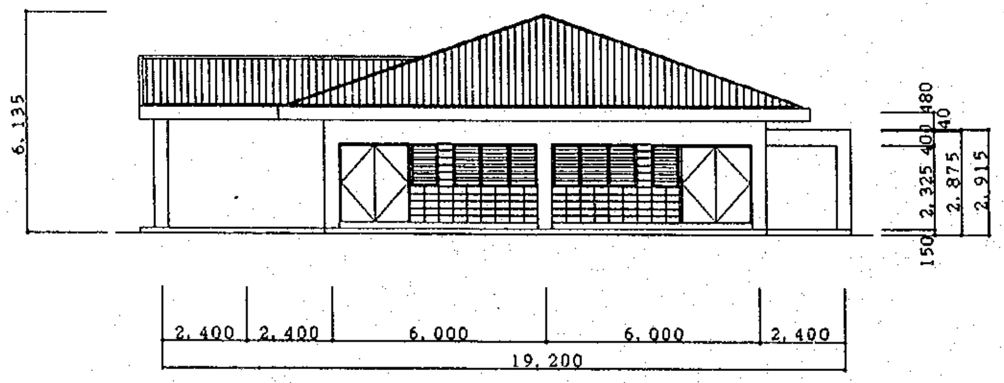
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: DINING HALL AND KITCHEN
		Scale: 1/200 · Date: 94.9.14 · Dwg. No. A-7



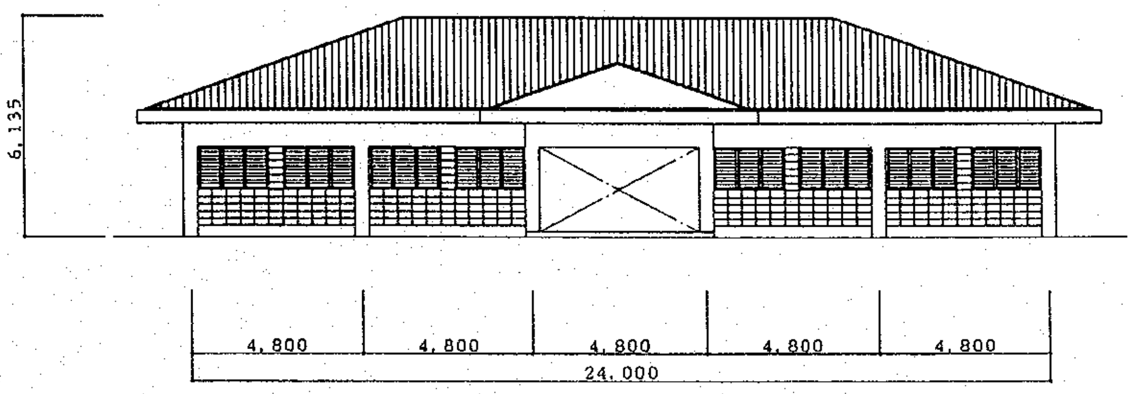
SECTION



PLAN

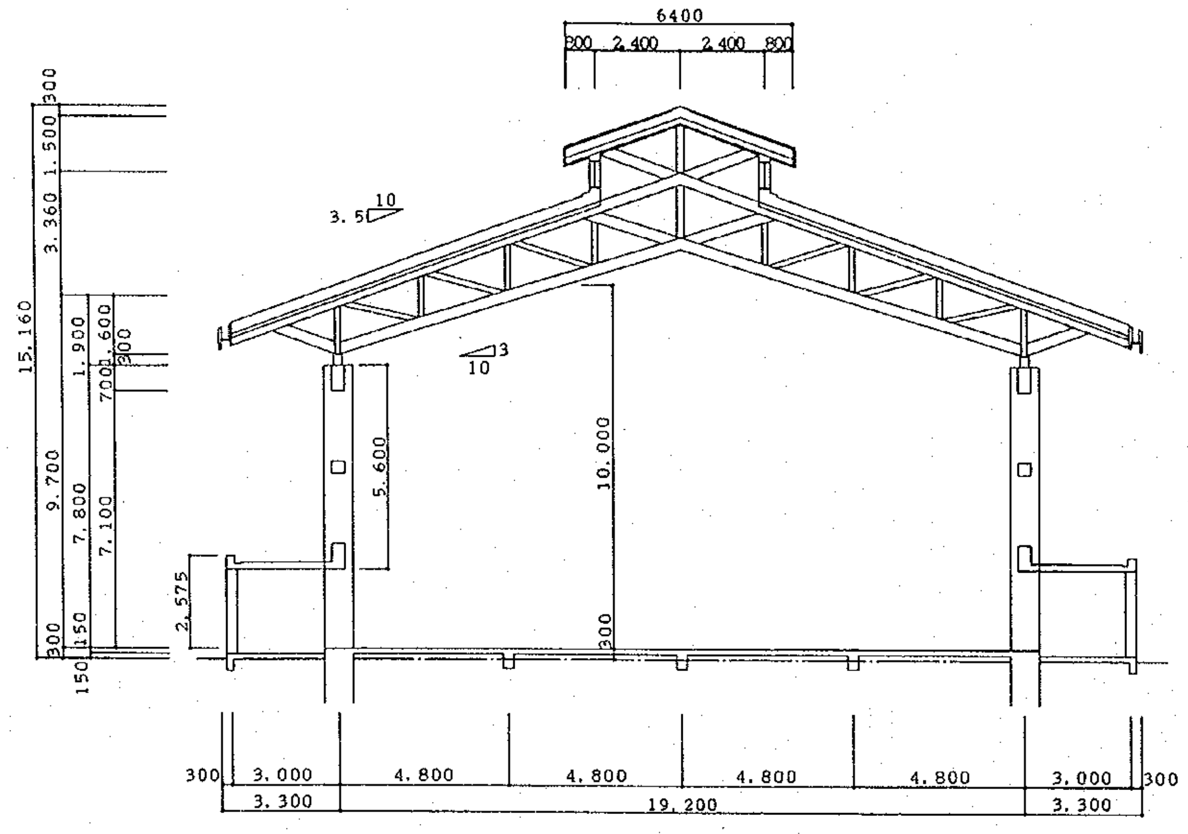


SIDE ELEVATION

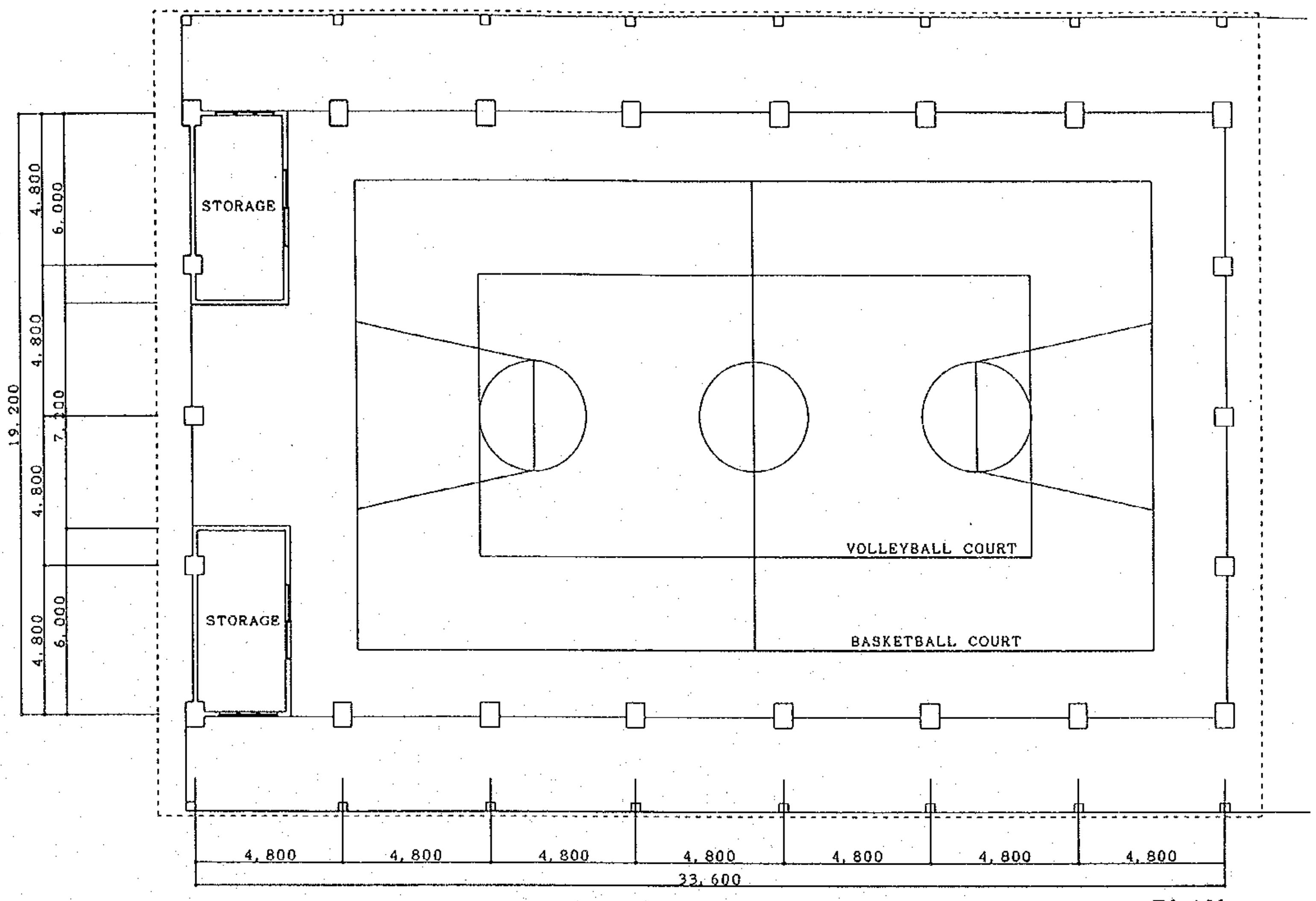


ELEVATION

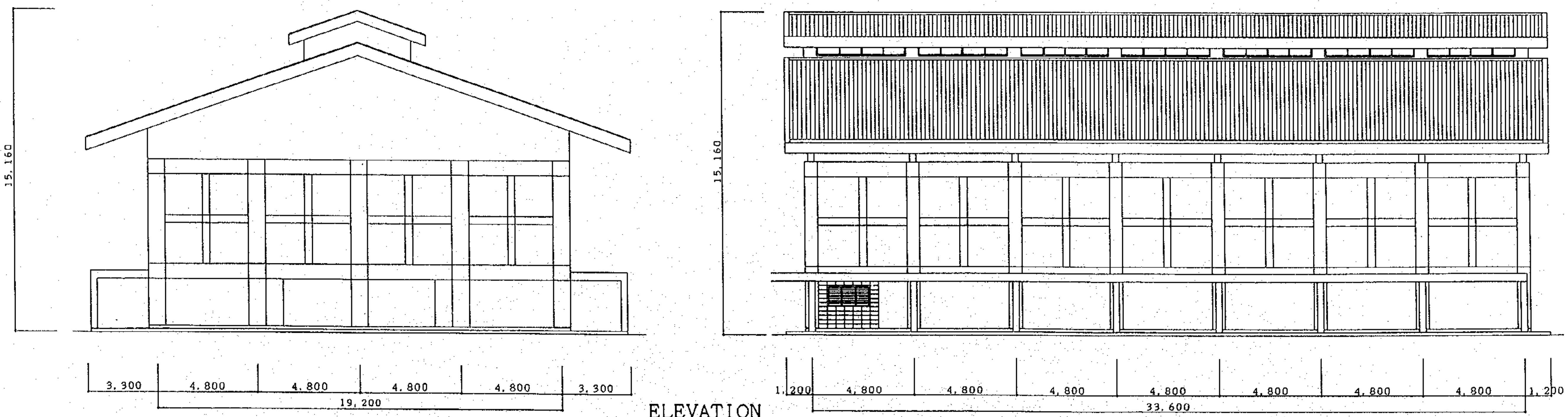
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: ADMINISTRATION BUILDING		
		Scale: 1/200	Date: 94. 9. 16	Dwg. No. A-8



SECTION

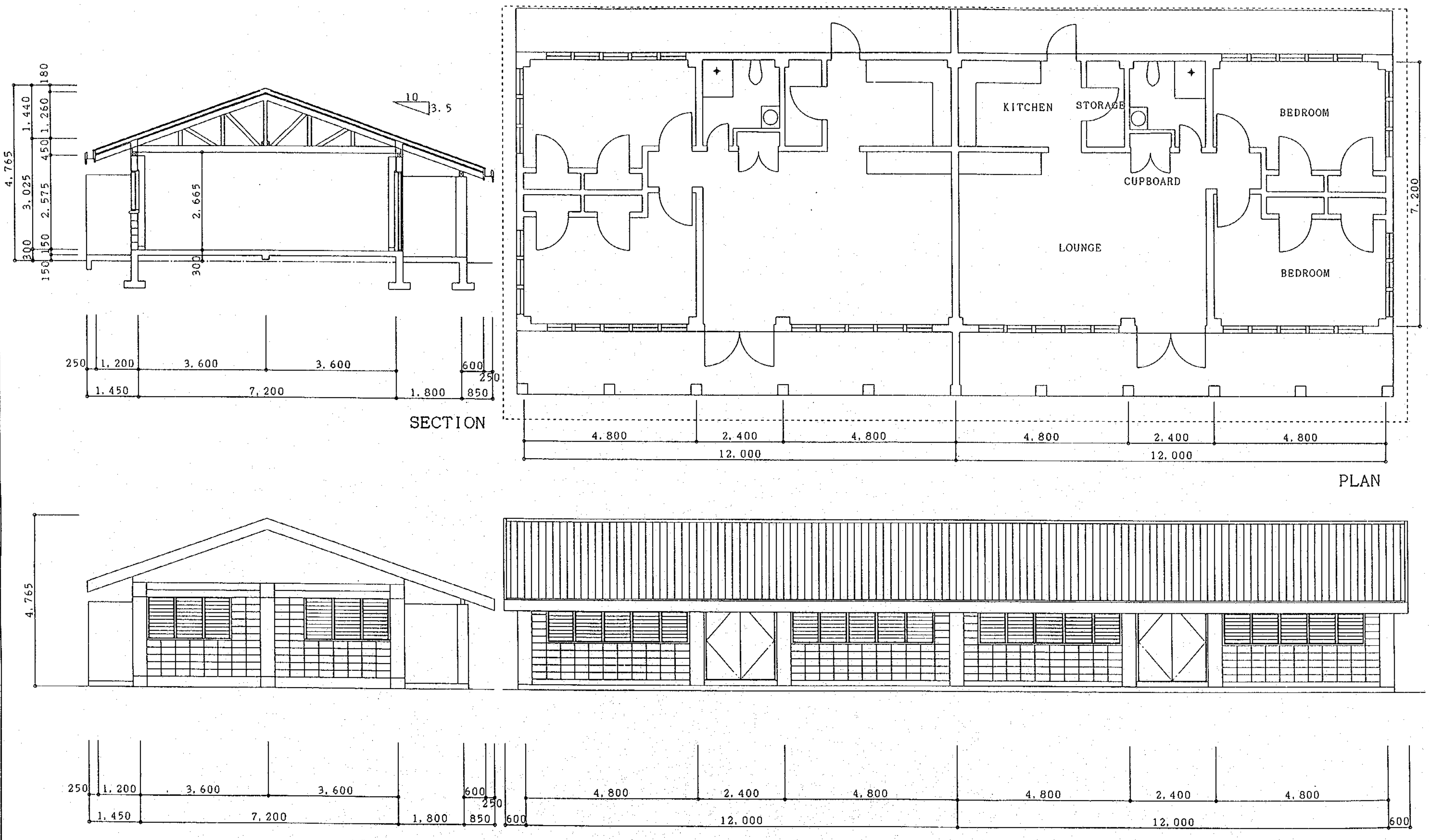


PLAN



ELEVATION

UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: GYMNASIUM
		Scale: 1/200 / Date: 94.9.14 / Dwg. No. A-9



SECTION

PLAN

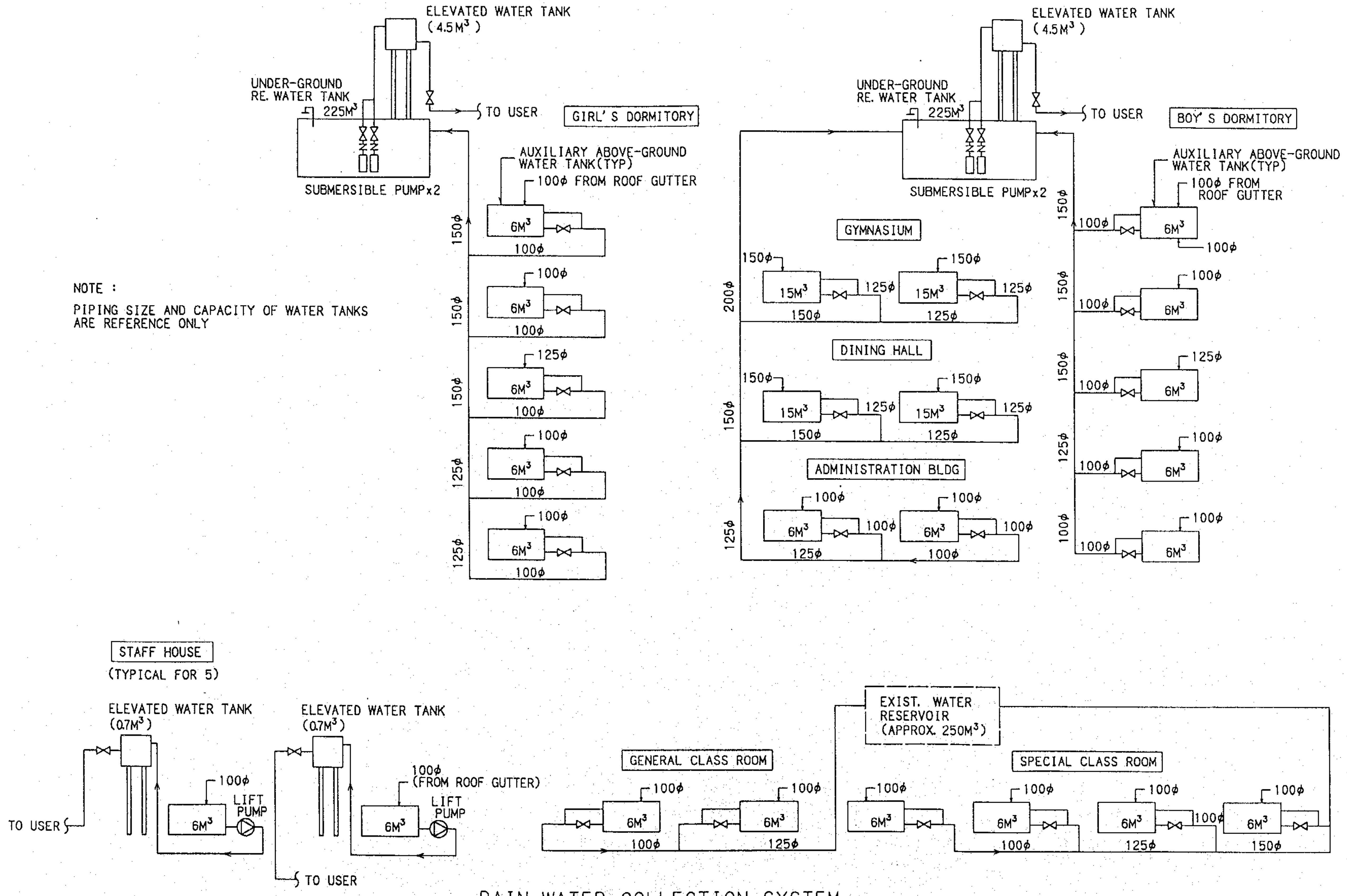
SIDE ELEVATION

ELEVATION

UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: STAFF QUARTER Scale: 1/100 Date: 94.9.16 Dwg. No. A-10

NOTE :

PIPING SIZE AND CAPACITY OF WATER TANKS ARE REFERENCE ONLY



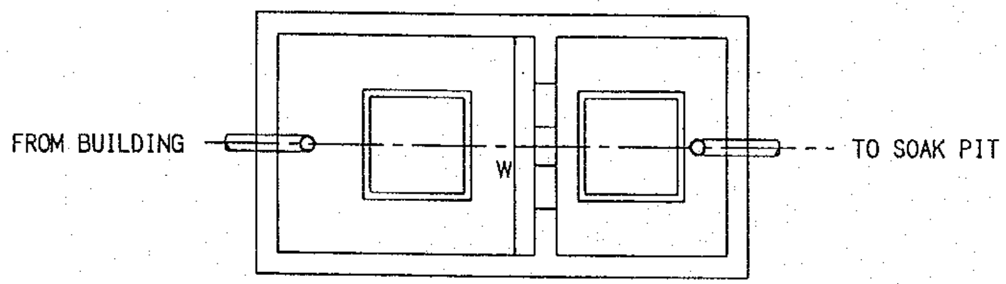
RAIN WATER COLLECTION SYSTEM

UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: RAIN WATER COLLECTION SYSTEM Scale: NONE / Date: '94.9.16 / Dwg. No. P-1

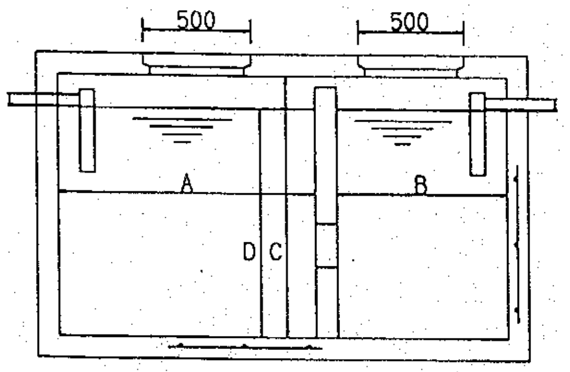
SEPTIC TANK DIMENSIONS

No. of Persons	ONLY SOIL WASTE							QUANTITY	TREATMENT BUILDING
	A	B	C	D	W	V(m³)	F(m³)		
10	1000	600	1000	850	800	1.22	0.02	5	STAFF' S HOUSING
25	1200	800	1200	1050	1000	2.10	0.05	1	ADMINISTRATION BLDG
50	1600	800	1400	1250	1000	3.00	0.06	6	BOY' S & GIRLS DORMITORY

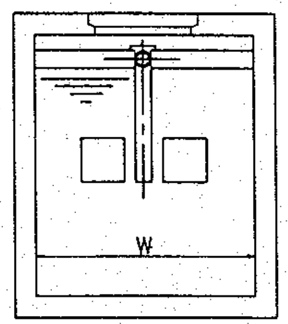
DETAILS OF REINFORCED CONCRETE SEPTIC TANK



PLAN

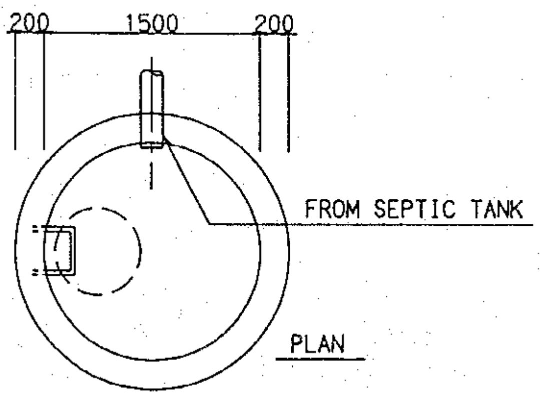


LONGITUDINAL SECTION

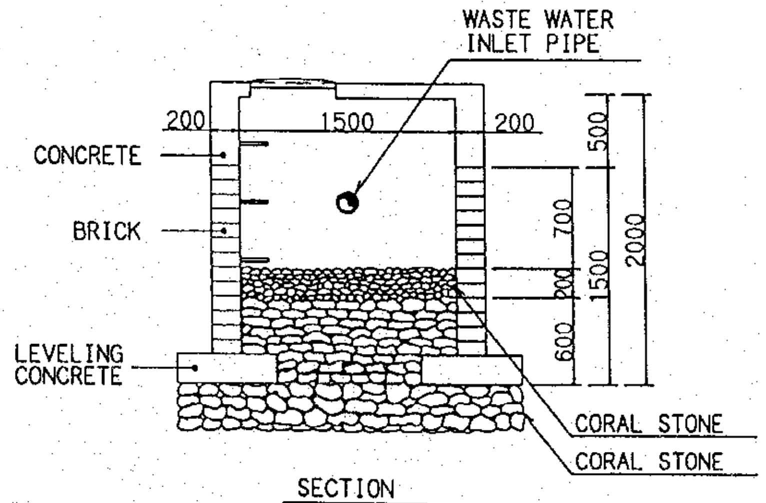


CROSS SECTION

DETAILS OF SOAK PIT



PLAN



SECTION

Notes:

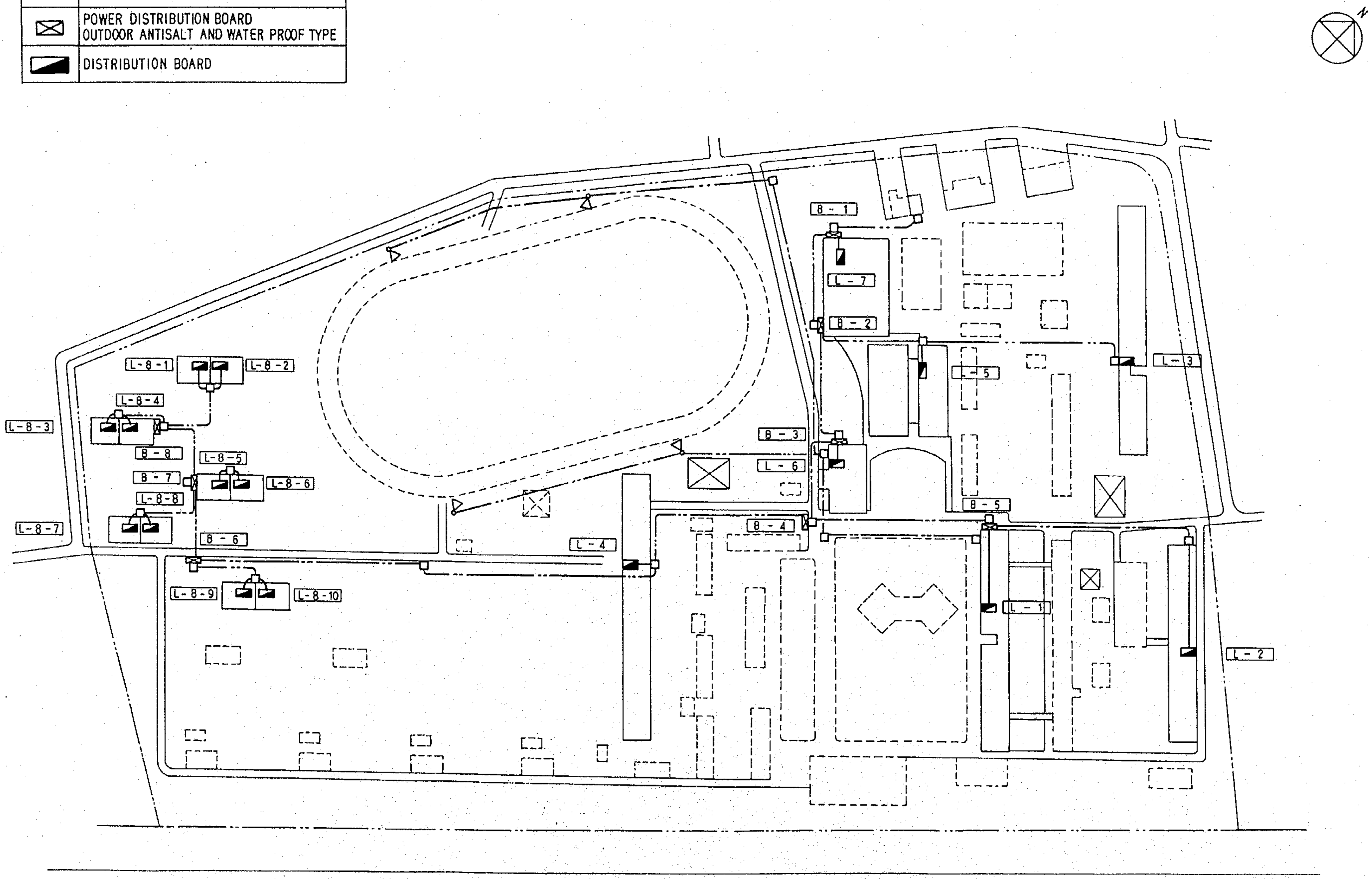
1. All dimensions in mm
2. concrete to be 20 MPa grade.
3. Reinforcement - 665 mesh or D10 at 250 crs both ways all around.

QUANTITY

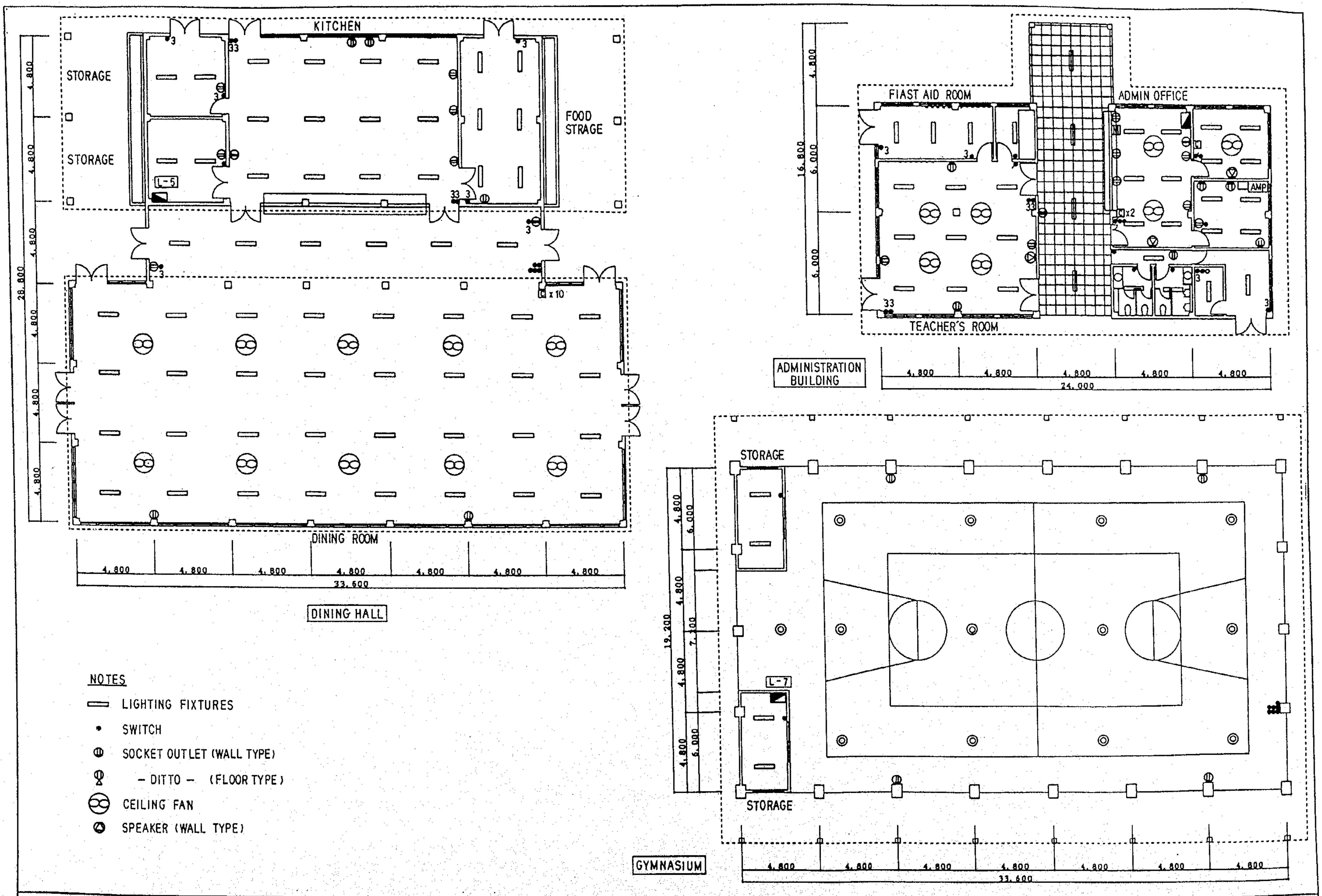
·Adminstration bldg.	1
·Boy' s Dormitory	3
·Girl' s Dormitory	3
·Special Class Rm	2
·Canteen	1
·Staff' s Housing	5
TOTAL	15PCS

UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: SEPTIC TANK AND SOAK PIT		
		Scale: NONE	Date: '94.9.16	Dwg. No. P-2

SYMBOLS	DESCRIPTION
— · · —	UNDER GROUND WIRING PIPING (GL-600)
☒	POWER DISTRIBUTION BOARD OUTDOOR ANTISALT AND WATER PROOF TYPE
◪	DISTRIBUTION BOARD



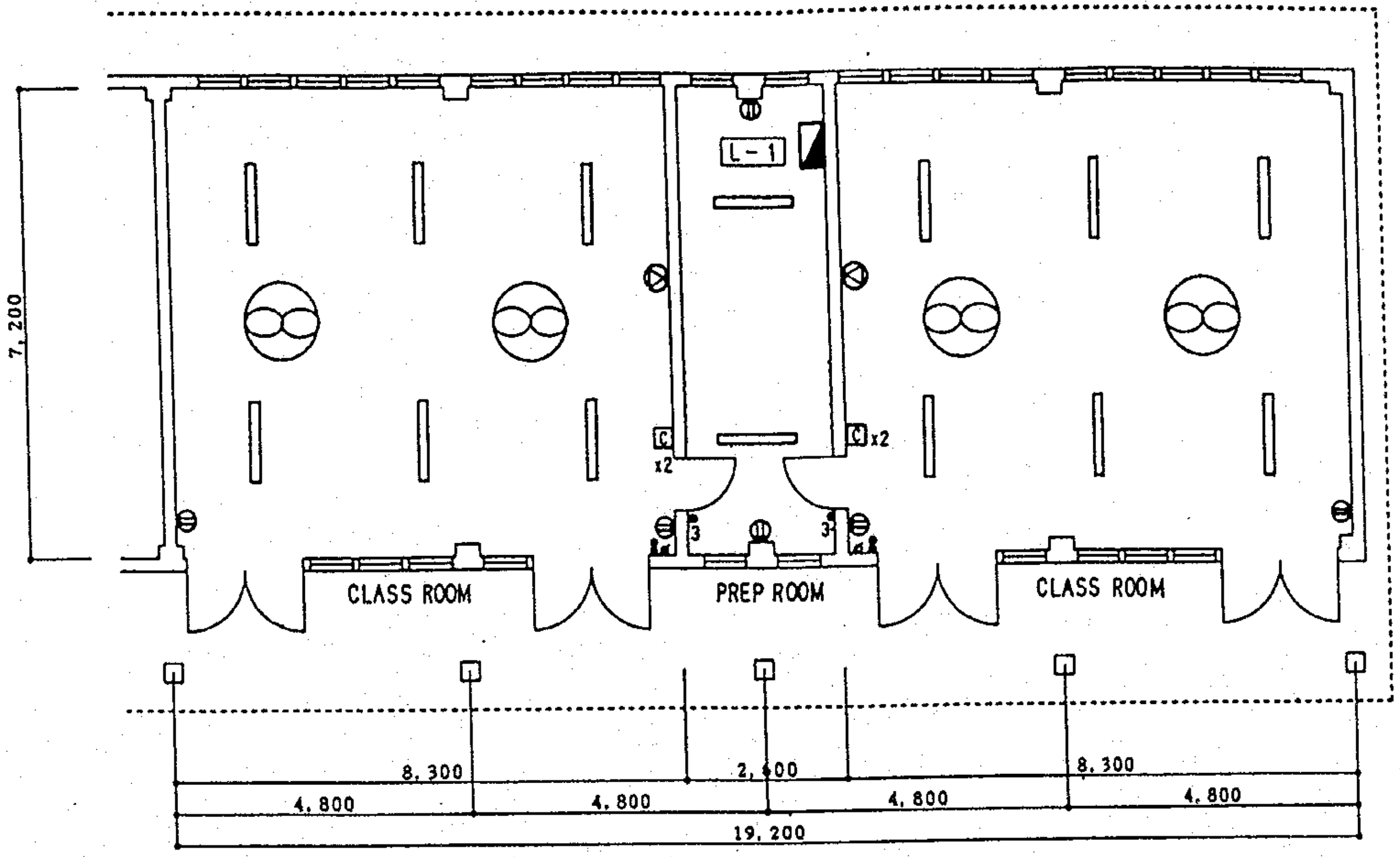
UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: SITE PLAN OF ELECTRICAL		
		Scale: 1/2000	Date: 94. 9. 9	Dwg. No. E - 1



UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUPOUA SECONDARY SCHOOL

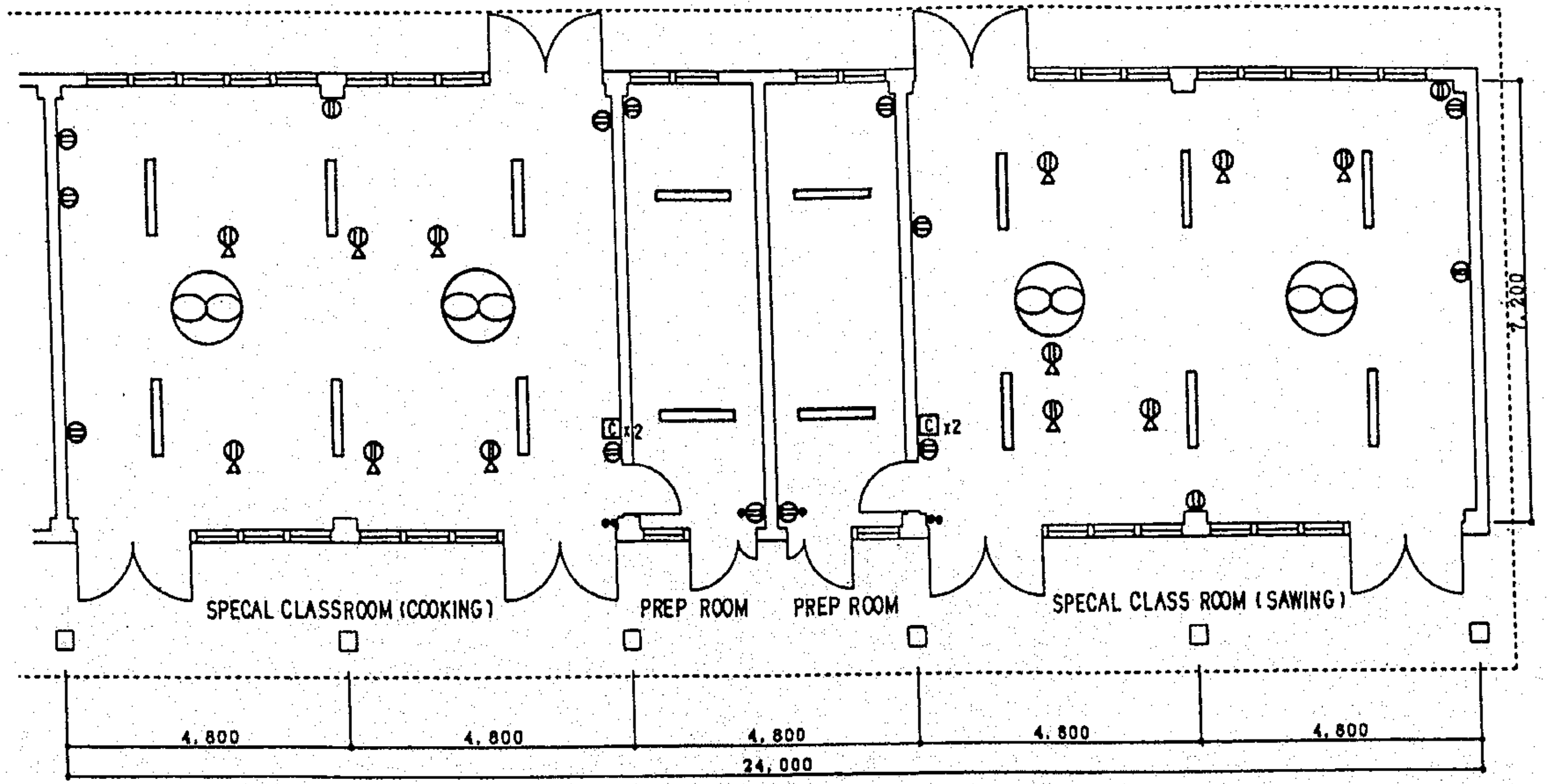
PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL

Title:	LIGHTING & SOCKETOUTLET PLAN
Scale:	1/200
Date:	94. 9. 5
Dwg. No.	E - 2



GENERAL CLASSROOM

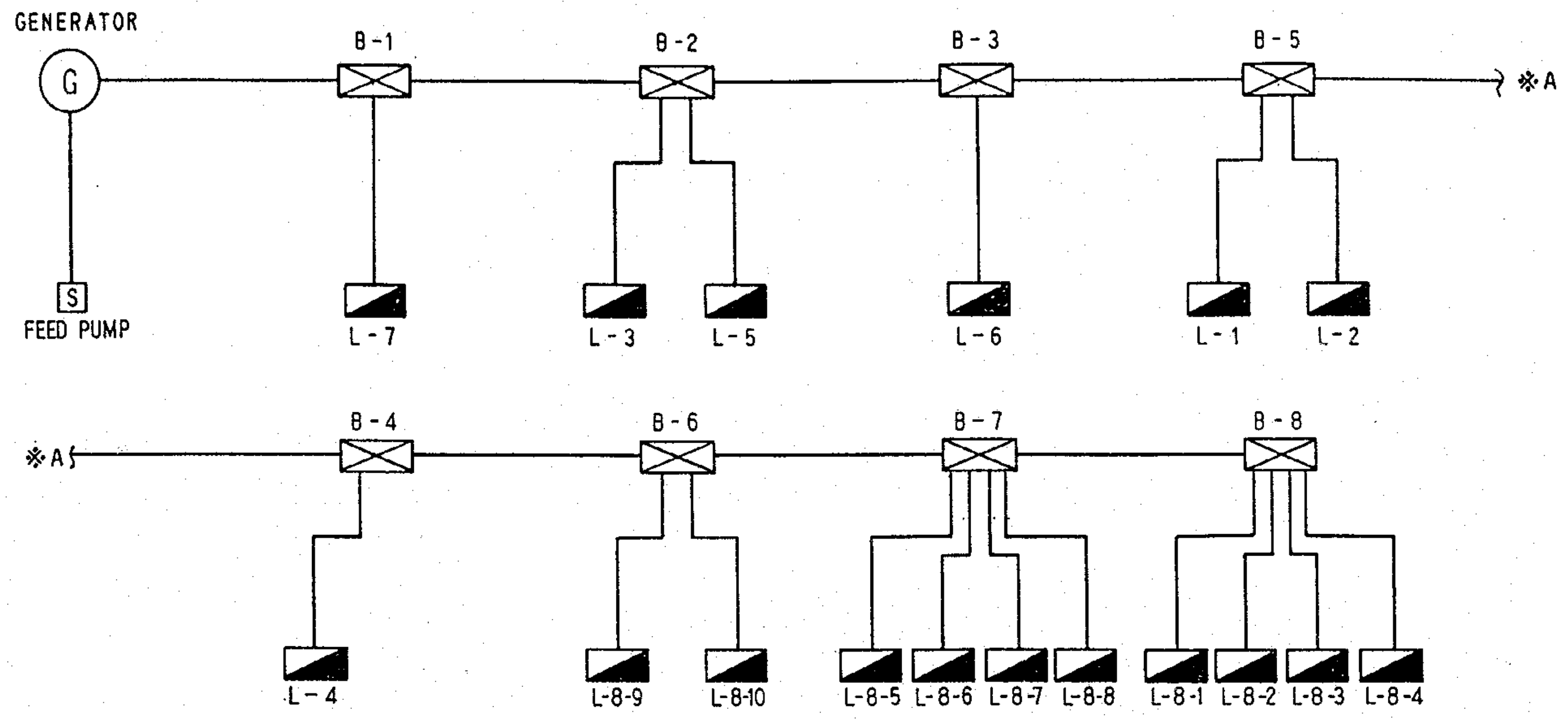
NOTES
- LIGHTING FIXTURES
- SWITCH
- SOCKET OUTLET (WALL TYPE)
- — DITTO — (FLOOR TYPE)
- CEILING FAN
- SPEAKER (WALL TYPE)



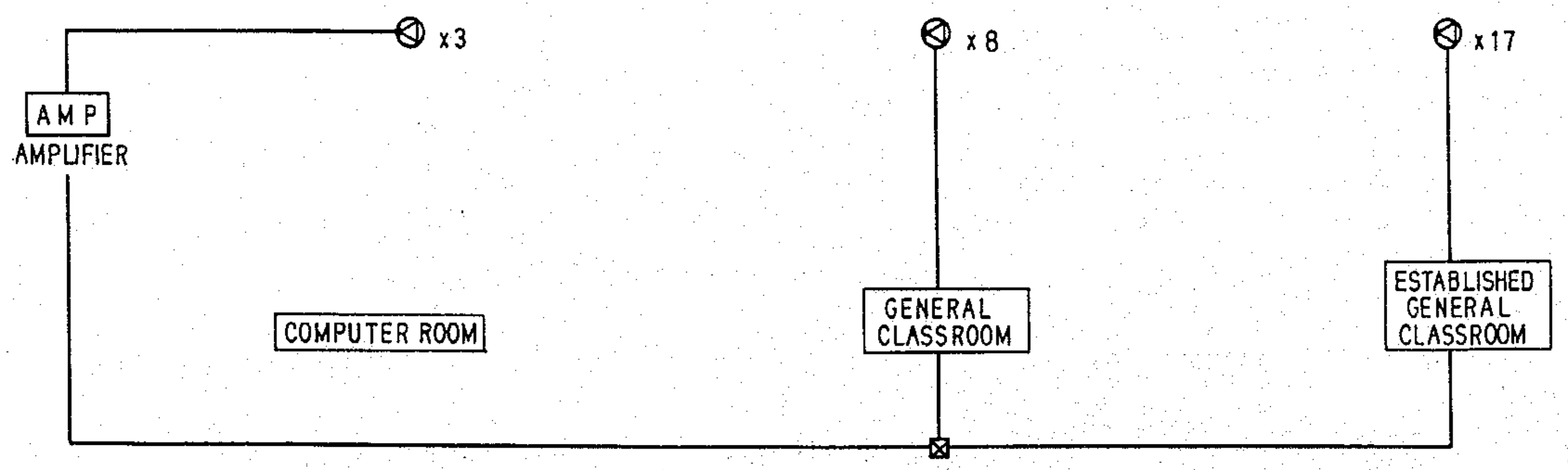
SPECAL CLASSROOM

PLAN

UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: LIGHTING & SOCKETOUTLET PLAN Scale: 1/100 · Date: 94. 9. 9 · Dwg. No. E-3



WIRING SCHME OF POWER CIRCUIT



WIRING SCHEME OF AMPLIFIER

UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL	PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL	Title: WIRING SCHEME		
		Scale: ——	Date: 94. 9. 9	Dwg. No. E-4

4-5 施工計画

4-5-1 事業実施の基本方針

(1) 基本事項

① 本計画基本設計調査業務終了は、平成6年10月下旬とされている。その後、日本政府の閣議・決定を経て、無償資金協力に関し、日本国政府とトゥ国政府との間で交換公文が締結される。

② 交換公文の締結により、正式に日本が援助をコミットすることとなり、具体的な実施に移る。

③ 締結後は日本国籍を有するコンサルタントとトゥ国政府との間で実施設計、施工監理契約を結び、ただちに実施設計作業に入る。

(2) 実施設計

① 実施設計はまず実施主体と施設および機材等に関して、基本設計の詳細な確認業務から始めることが効率的である。

② 実施設計期間中に、日本国内およびトゥ国内にて各々十分な技術的協議を重ねる必要がある。

③ 実施設計期間は約4ヶ月必要と思われる。

(3) 入　札

① 入札は、国際協力事業団の入札業務ガイドラインにそって行なわれる。

② 入札は、施設建設および機材を合わせた形で日本の建設会社を対象として行なうか、または、両者を分離し、前者（施設建設）を建設会社、後者（機材）を商社等とする方法等考えられるが、本件の内容、規模を考慮すると前者が望ましいと考えられる。

③ 入札執行者は実施主体であるが、国際協力事業団の指導を得て、コンサルタントが十分協力して行なう。

(4) 建設および機材

① 建設は日本の建設会社が担当するが、ヴァイトゥプ島には現地コントラクターはなく、一般労務者を日本の建設会社が雇用し、直接指示する形となると想定されるため、十分な労務管理、現場の指導を行ない、施工能率を上げ、施工上のロスを少なくする。

② 施設建設と機材納入の工程的絡み、据付業務については、両者が円滑に進むよう工程および技術管理を行なう必要がある。

③ 建設機材、材料の海上輸送計画が本件の工程管理上の重要な点である。

(5) 実施体制（事業実施主体）

本無償資金協力事業の実施体制は以下のとおりである。

① 無償資金協力のトゥ国側の決定機関はMinistry of Foreign Affairs and Economic Planningである。

② 本建設計画のトゥ国側の実施機関は、Ministry of Health, Sports and Human Resource Developmentの中のEducation Departmentである。

③ 工事期間中の技術面に関する実施機関は、公共事業省およびその下部機関である公共事業局（ＰＷＤ）である。教育機材については、教育省となる。

トゥ国各機関と日本国側コンサルタントおよび請負業者との関係は下図のとおりである。

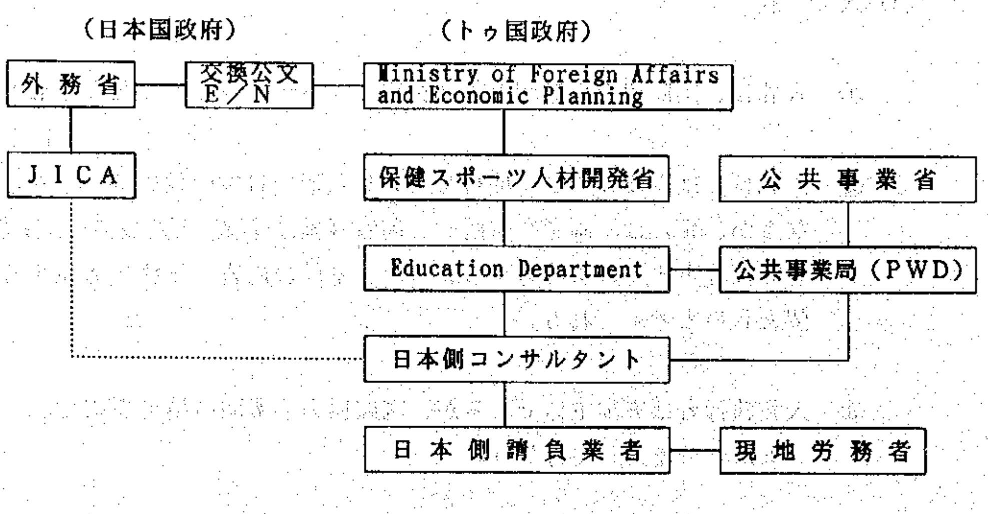


図4－10　実施体制

4-5-2 建設事情および施工上の留意事項

トゥ国における建設工事は、主として政府関係の工事であり、公共事業省および公共事業局（Public Works Department）が官庁関係の建物の営繕に当たっている。しかし、ＰＷＤがコントラクターとして直接工事を請負うことは、特別な場合を除いてなく、一応公共工事もすべて入札により、コントラクターが決定される仕組みになっている。トゥ国には、現在４つのコントラクターがあるが、常時仕事を有しているのではなく、仕事を請け負った時だけ人を集めて施工するという状況である。その内容は、道路の建設、病院、学校および政府関係の施設の建設およびメンテナンスが主なものである。建設のほとんどは、木造または、コンクリートブロック造平屋建てで、日除け、風向きを考慮した風通しの良い構造になっている。一般住宅は、木造または、コンクリートブロック造一戸建て平屋で、屋根は、ローカル工法によるやしの葉葺が多い。

現在、ＰＷＤには、大工12名、建具職５名、塗装工４名、電工３名、冷凍・空調工１名、配管工４名、機械工４名、溶接工４名等の熟練工を抱え、そのうえに土木、電気、建築、機械の技術者とスーパーバイザーを置いており、主として官庁関係の建物の営繕を行なっている。フナフティにおいては、各種熟練工の調達は可能であるが、一方、ヴァイトゥプ島内において、建設に関わる労務者は少なく、管理技術者、熟練工等関係技術労務者は、皆無である。現地労務者は、左官（ブロック工も兼ねる）、大工などの半熟練工で、後は一般労務者である。

建設機械については、ＰＷＤにはトラクター、フォークリフト、ローラー、コンプレッサー、ポンプ、溶接機等の基本的な建設機材を有し、ＰＷＤ設定価格にて貸し出ししている。しかし、ヴァイトゥプ島内には、トラクターが１台あるのみで建設機械はなく、本件の遂行に際しては、必要な建設機械をバージ等により、海路ヴァイトゥプまで持ち込む必要がある。

以上のトゥ国における建設事情を踏まえ、施工上、特に以下の点について留意する。

(1) 日本の建設会社が入札し、建設を担当すると考えられるが、ヴァイトゥプ島にはコントラクターはなく、先に述べたように一般労務者を日本の建設会社が雇用し、直接指示する形となると想定されるため、十分な労務管理、現場の指導を行ない、施行能率を上げ、施工上のロスを少なくする必要がある。また、これらを前提として、労務者の手配、人数の確保等に充分注意を払い、工程管理にあたるものとする。

(2) 建設機械に関しては、できる限り、特殊建機、大型建機を要しなくても建設可能な設計を考慮するが、輸送上の問題も含め必要かつ最小限のものを確保する必要がある。

(3) 建設に関する基準および法規の整備は十分なされておらず、プロジェクト毎にオーストラリア、ニュージーランドあるいは、フィジーの基準等が適用されている。設計にあたっては、これらの法規を参考にしたうえで、現地の状況も考慮した基準の適用を行ない、無駄のない合理的な設計とする。

(4) 現地生産品は、砂および砕石（サンゴ）くらいしかなく、建設資機材のほとんどが輸入に頼らざるを得ない。また、輸送は、海路輸送となるため、天候等の自然条件により影響を受けやすい。したがって、工期を踏まえ、材料の手配には、品質・数量・納期等綿密な計画をたてる必要がある。

4-5-3 施工監理計画

本計画は、離島であるため、輸送手段等に大きな制約を受け、これは、コスト計画にも影響を及ぼすと考えられるため、特に輸送計画については、留意する必要がある。工事期間中におけるコンサルタントの具体的な業務内容は次のとおりである。

(1) 工事計画、施工図の承認

施行業者より提出される工事計画書、工程表、施工図が契約書、仕様書に適合しているかを審査し、承認を与える。

(2) 工程管理

施工業者より工事の進捗状況の報告を受け、工期内に工事が完了するよう必要な指示を出す。また、相手国側負担工事の遅延が本工事の進捗に影響するような場合は、必要に応じて相手国側負担工事の促進を図る。

(3) 品質検査

現場において工事材料および施工の品質が仕様書に適合しているかを検査し、承認を与える。なお、日本で製作され現地に輸送される材料・機器は東京本社サポートが立会検査を行なう。

(4) 出来型検査

完成断面を検査し、数量の確認をする。

(5) 証明書の発行

工事材料、機器などの輸出、施工業者への支払い、工事の完了、瑕疵担保期間の終了等にあたって必要な証明書を発行する。

(6) 報告書等の提出

施工業者が作成する工事の月報、完成図書、完成写真等を検査し、トゥ国政府、ＪＩＣＡ等に提出する。また、工事終了後、「無償資金協力案件に関する総合報告書の作成要領」に従って総合報告書を作成し、ＪＩＣＡに提出する。

(7) その他調整事項の処理

他の援助機関によるプロジェクトや相手国側負担工事等との工程上、技術上の調整など必要な調整を行なう。

4-5-4 資機材調達計画

トゥ国で入手可能な資機材は、サンゴ砂、サンゴ岩を砕いた骨材等非常に限られたものであるため、それを前提に計画する。資機材の調達に当っては、施設の維持管理が容易にでき、メンテナンスフリーなものとし、特に、搬入必要期間、搬入ルートについて検討する。本計画施設に使用する資機材の調達計画の一例を表４－10に示す。

表４－10　各種材料別調達計画

資材名	現地調達	日本調達	第３国調達	備考
砂・砂利	○			
セメント			○	
木材			○	
鉄筋		○	○	
コンクリートブロック	○		○	
タイル			○	
木製建具			○	
金属建具			○	
硝子			○	
防水材			○	
下地合板			○	
屋根金属板材料		○	○	
Pタイル			○	
天井ボード		○	○	
塗料		○	○	
雑金物		○	○	
分電盤		○	○	
照明器具		○	○	
電線・電線管		○	○	

資　材　名	現地調達	日本調達	第３国調達	備　　考
配線器具		○	○	
発 電 機		○	○	
変 圧 器		○	○	
弱電機器		○	○	
ＰＶＣパイプ			○	
衛生器具			○	
高架タンク		○	○	
ポ ン プ		○	○	

表４－11　建設機材調達計画

機　材　名	現地調達	日本調達	第３国調達	備　　考
バックフォー（0.6㎥）		○	○	ブレーカー付き
ショベルローダ		○	○	
ダンプトラック（４ｔ）		○	○	
トラック（４ｔ）		○	○	ブーム付き
振動ローラー		○	○	
ランマー		○	○	
コンパクター		○	○	
コンクリートミキサー（0.3㎥）		○	○	可 傾 式
鉄筋切断機		○	○	
鉄筋加工機		○	○	
モルタルミキサー（0.3㎥）		○	○	
コンクリートブロック製造機		○	○	
水中ポンプ		○	○	
ゼネレーター（35KVA）		○	○	
ゼネレーター（2.2KVA）		○	○	
エンジン溶接器		○	○	
クラッシャー		○	○	
タンクローリー		○	○	
仮設足場支保工		○	○	
コンクリートダンパー		○	○	場内運搬用

4-5-5 輸送計画

(1) 輸送経路

現在、ヴァイトゥプ島の桟橋は、サイクロンに伴なう津波のため破損しており、資機材の輸送については、特にトゥ国内の輸送方法について、綿密な計画をたてる必要がある。

キリバス←→フナフティ←→スバの間に月3船の運航があるがフナフティ←→スバ間は1船のみである。したがって、オーストラリアからの物資はキリバス経由でフナフチにはいるケースが多い。フィジー、ニュージーランドのものはスバよりフナフチにはいる。

日本からの小型コンテナであれば、直接フナフチに入船させることも可能である。したがって、資機材の輸送については、キリバス、スバ経由とフナフティ直接の以下の3ルートが考えられる。

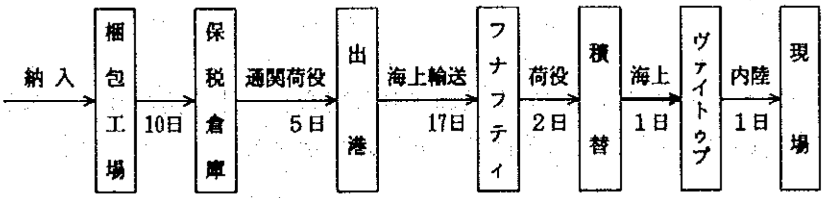
A. オーストラリア──→キリバス←──→フナフティ積み替え──→ヴァイトゥプ島──→建設地
(2船／月)　海上 (バージ)　内陸

B. ニュージーランド──→フィジースバ積み替え──→フナフティ積み替え──→ヴァイトゥプ島──→建設地
海上 (1船／月)　海上

C. 日　本──→フナフティ積み替え──→ヴァイトゥプ島──→建設地
海上　内陸

フナフティより、ヴァイトゥプ島への輸送は、現在ニバガおよびタウタイの2船が周行しており、これによらざるを得ないが、タウタイはクレーンを有していないので、荷卸上問題があり、クレーンを有しているニバガによることとなる。ニバガの2クレーンを使用すれば最大7トンまで可能である。

所要日数は、日本からの場合、調達資機材の梱包工場搬入より現場まで以下のとおりと算定される。



この他にヴァイトゥプ島でのに荷上げ約２日間かかる。よって、日本から現地まで約38日かかると算定される。しかし、船の都合により、最大90日程度かかる場合も想定される。

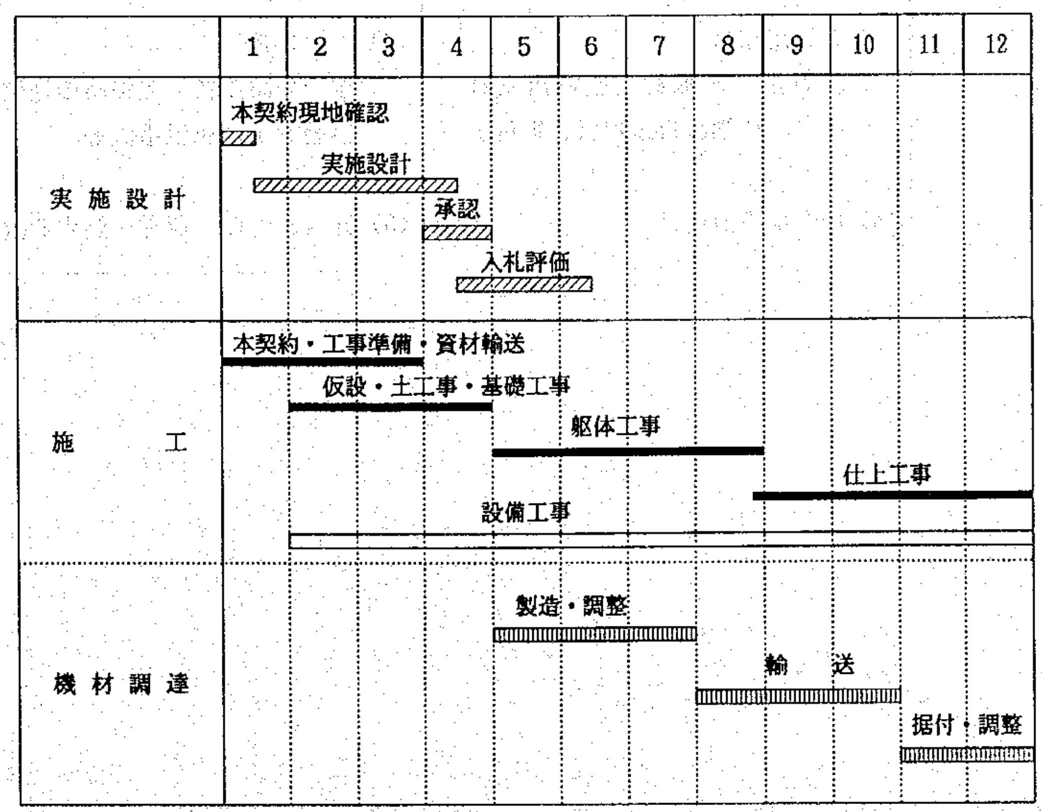
(2) 荷　姿

通常の建設資材の荷姿については、数量、品質の確実性および安全性を考慮して、コンテナ輸送を原則とすることが考えられる。

4-5-6 実施工程

施設建設および機材調達を最も合理的に行なった場合の実施工程表を表４－12に示す。

表４－12　事業実施工程表



4-5-7 負担範囲

日本国政府の無償資金協力が実施された場合、全体事業のうち日本側が負担する範囲とトゥ国政府が負担する範囲を表４－13に示す。

表４－13　負 担 範 囲

日本側負担分	トゥ国側負担分
(1) 建築工事 構造躯体、建築仕上	(1) 整地工事 既存施設撤去、整地
(2) 電気設備工事 発電機、動力、幹線設備、電灯、コンセント設備、放送設備	(2) 外構工事 造園、植栽、フェンス 構内通路、外灯設備等
(3) 給排水衛生・換気設備 給水設備、排水通気設備、衛生器具設備、換気設備、厨房設備	(3) マニアパ、テニスコート／バレーコート／バスケットコートの整備工事
(4) 教育用機材 教育用一般機材、教室用家具、工具、科学教育用機材、据付工事	(4) その他 確認申請手続、陸揚時の通関手続および免税措置等
(5) 既存施設補修	(5) 維持、管理、運営に要する費用

4-6 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に必要となる事業費の総額は、約8.58億円となり、日本とトゥ国との負担区分に基づく双方の経費内訳は次のとおりである。

4-6-1 日本側負担経費

事業費区分	工事費		
	平成7年度	平成8年度	合　計
(1) 建設費	3.00億円	3.90億円	6.91億円
① 直接工事費	1.85	2.39	4.23
② 共通仮設費	0.12	0.22	0.34
③ 輸送梱包費	0.71	0.71	1.42
④ 現場経費	0.21	0.33	0.58
⑤ 一般管理費	0.12	0.22	0.34
(2) 機材費	0億円	0.75億円	0.75億円
(3) 設計監理費	0.54億円	0.32億円	0.86億円
合　計	3.54億円	4.98億円	8.52億円

4-6-2 トゥ国負担経費

(1) 整地工事	A＄3,500
(2) 外構工事	A＄9,000
(3) その他 (多目的ホール、屋外テニスコート／バレーコート／バスケットコートを含む)	A＄65,000
計	A＄77,500

4-6-3 積算条件

(1) 積算時点 → 1994年11月（基本設計終了時）
(2) 為替レート → 1A＄＝75.87円（過去6ヶ月平均）
1US＄＝100.00円（11月官レート）
(3) 工事期間 → 「4-4-6 実施工程」に示す施工期間を目安とする
(4) 施工業者 → 日本国籍を有する建設会社
(5) その他 → 本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする

第５章　プロジェクトの効果と提言

5-1　事業実施の効果

本計画の実施により、モトフォォウア校の施設規模は現状の約330人より600人の生徒に対応できるよう改善することができる。これによって初等教育を終了した全ての生徒を中等教育施設に受け入れることになり、同国の国家政策である教育「ＥＦＬプログラム」において優先順位第一位となっている中等教育改善の目標が達成されることになる。

中等教育改善により、国家のさらなる発展のための人材育成と教育・職業訓練システムの改善と建直しを進めることになり、今後のトゥ国の社会、経済の発展を大きく促すことになる。

９つの珊瑚礁の島々より構成される人口9,000人あまりのトゥ国にとって、モトフォォウア校は最も重要な教育施設でもあり、ヴァイトゥプ島にある同校にて４年間学ぶ子供達に、同国の将来の発展の全てが託されていると言っても過言ではない。

5-2　提　　言

これまでに述べてきたように、トゥ国政府要請のモトフォォウア中等教育施設拡充計画を、必要性、有用性、妥当性および効果の面で評価した結果、その裨益効果は極めて大きく、本計画は日本の無償資金協力事業に相応しいものであると判断される。

一定水準の教員の確保、水・電気・燃料の供給、運営管理体制の確立などは、本案件実施に伴なう重要な課題であるが、トゥ国側にても現在鋭意努力中であり、これらの準備を前提としたうえで本件が実施されれば、事業実施効果は多大であるといえる。

資　料　編

資料1　調査団員の構成

1．基本設計調査（1994年7月18日～8月13日）

1）総　　括	向井　一朗	国際協力事業団 無償資金協力調査部基本設計調査第二課
2）無償資金協力	山下　誠	在フィジー日本大使館　書記官
3）業務主任 （建築計画）	波多野哲次	(株) ﾊﾟｼﾌｨｯｸ ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ
4）施設計画	井島　宏	(株) ﾊﾟｼﾌｨｯｸ ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ
5）教育機材	土井　保道	(株) ﾊﾟｼﾌｨｯｸ ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ
6）衛生設備 ・自然条件調査	林田　賢一	(株) ﾊﾟｼﾌｨｯｸ ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ

2．基本設計調査，ドラフト説明（1994年9月22日～10月6日）

1）総　　括	西本　俊幸	外務省経済協力局無償資金協力課
2）計画管理	西木　広志	国際協力事業団 沖縄国際センター研修課
3）業務主任 （建築計画）	波多野哲次	(株) ﾊﾟｼﾌｨｯｸ ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ
4）教育機材	土井　保道	(株) ﾊﾟｼﾌｨｯｸ ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ

資料２　調査日程報告

（1）基本設計調査（1990年７月18日～８月13日）

日順	年 月 日	行　　　程	調 査 業 務 の 概 要
1	７月18日（月）	成田（20:00）→ナンディ（7:30）	
2	７月19日（火）	ナンディ（8:30）→スバ（11:40） 12:00　日本大使館 午後　ＪＩＣＡ・ＦＩＪＩ事務所 ＡＩＤＡＢ事務所 ＵＮＤＰ事務所 ＪＩＣＡ・ＦＩＪＩ事務所 夜　大使館・ＪＩＣＡ歓迎宴	 向井団長表敬訪問 表敬訪問、打合わせ（Mr.Chirs Wheeler : First Secretary） 表敬訪問、打合わせ（Mr.Parviz C Fartash ： Assistant Resident Representative） 本日まとめ・今後予定等打ち合せ
3	７月20日（水）	スバ（10:00）→フナフティ（13:10） 午後　教育局 島内視察	 教育大臣表敬訪問（Mr. Hon Faimalagi Laka） 打ち合せ　（Mr. Hauma Perehuro , Pita Afelee） 島内視察　（フェツヴァル校等）
4	７月21日（木）	午前　Viaku Lagi Hotel会議室 フナフティ小学校（11:00～12:30） 午後　教 育 局　（13:30～15:30）	トゥ国政府側との協議 ・ＪＩＣＡ無償案件の説明 ・Inception , Questionnaire説明 視察調査（校長NATANO氏） 協議（教育局側３名、具体的内容について）
5	７月22日（金）	午前　ＵＳＰ Extension Centre 教育局 午後　フェツヴァル校 Amatuku Maritime School Amatuku発（17:00）→ヴァイトゥプ沖着（1:00）	視察調査（所長：Mr. Pafin Nouata） 協議（教育局側３名） 類似施設視察調査 視察、調査
6	７月23日（土）	ヴァイトゥプ上陸（7:00） 午前　モトフォウア校 午後	 モトフォゥア校学校側、教育省ＰＷＤとの協議 （Inception , Questionnaireの説明） モトフォゥア校敷地調査
7	７月24日（日）	午前 午後　モトフォウア校 島内一周	団内会議（向井団長、山下書記官、波多野） 井戸水調査（井島、土井、林田） 敷地調査 ・教員宿舎他（昨日の残り部分） ・学校側と協議
8	７月25日（月）	午前　水産センター ヴァイトゥプ島議会 ヴァイトゥプ島（9:50）→フナフティ島 夜	視察調査（向井団長、山下書記官、波多野） 表敬訪問（向井団長、山下書記官、波多野） （官側向井団長、山下書記官および波多野移動） （井島、土井、林田残留し調査継続→７／30まで） 在トゥ国ＪＩＣＡ専門家伊藤氏訪問

日順	年月日	行　　程	調査業務の概要
9	7月26日（火）	午前　Viaku Lagi Hotel会議室 午後　Viaku Lagi Hotel会議室	Minutes協議 Penehulo, David, 女性１人 （向井団長、山下書記官、波多野） Minutes協議
10	7月27日（水）	午前　Viaku Lagi Hotel会議室 午後 フナフティ（13:45）→ナンディ（16:55） ナンディ　（18:00）→スバ（18:35）	Minutes of Discussionの調印（保健スポーツ人材開発大臣／向井団長サイン） 教育局と今後予定協議 （向井団長、山下書記官）移動
11	7月28日（木）	午前　教育局 午後　気象台 　　教育局 　　ＪＩＣＡ事務所（フィジー） 　　ＡＩＤＡＢ事務所（フィジー） スバ→ナンディ（陸路）	協議（今後の予定等について） 調査（ヒアリング、資料収集等） 協議（Mr. Penehulo），Mr. David邸見学 （向井団長）現地調査の報告 （向井団長）協議 （向井団長、山下書記官、渡辺）移動
12	7月29日（金）	午前　海運・港湾局 　　財務省 午後　水産センター 夜　　教育局 ナンディ→オークランド	海上輸送ルート等の協議（Mr. Sio） 財務大臣とBudgetについて協議（Mr. Mosei, Secretary of Finance） センター周辺視察調査（寺前専門官案内） 在トゥ国ＪＩＣＡ専門家伊藤専門家と打ち合わせ（Tuvalu情報全般） 打ち合わせ（Mr. Penehulo） （向井団長、山下書記官、渡辺）移動
13	7月30日（土）	午前 ヴァイトゥプ島（10:00）→フナフティ島（18:00） オークランド（9:35）→成田（17:15）	（井島、土井、林田）移動 （波多野）資料整理 （向井団長、渡辺）帰国
14	7月31日（日）	午前	資料整理、団内会議（ヴァイトゥプ島での調査結果報告）→各自まとめ
15	8月1日（月）		National Holiday
16	8月2日（火）	午前　教育局 　　ＰＷＤ 午後　ＰＫ　Construction 教育局	スケジュール打ち合わせ他（Mr. Penehulo） 建設事情調査（Mr. Tupaeko／建築規範、見積書図面収集等） ＰＷＤ視察調査 ローカルコンストラクター建設事情ヒアリング（Mr. Polani Papua） 打ち合わせ、建設事情関連資料コピー・整理（Mr. David）

日順	年月日	行　　程	調査業務の概要
17	8月3日（水）	午前　PWD 　　気象台 午後　教育局	建設事情ヒアリング他　(Mr.Tapaeko) Questionnaire　回答状況確認 建築材料単価調査 (Meliat Alapi Hardware) Questionnaire　回答、運営管理費の件、Master Planの件 (Mr.Penefulo)
18	8月4日（水）	午前 　　水産局 午後　統計局 　　税　関	資料整理、報告書原稿作成 協議 (Director : Mr. Sautia Maluofenua) 調査（資料収集） 協議 (Director Custom & Taxation Mr. Kausea Natano)
19	8月5日（金）	午前　教育局 　　教会	機材リスト打ち合わせ (Mr. Penehulo, Mr. David) 配置計画打ち合わせ 建設現場（教会）視察
20	8月6日（土）	終日　教育局／PWD	終日打ち合わせ (Mr. Perehuro、Mr. Tapaeko)
21	8月7日（日）		資料整理、団内打ち合わせ（既調査事項の確認、未調査事項のチェックの後各自整理） 建設事情調査（中心地区官庁建物）
22	8月8日（月）	午前　PWD 午後　教育局 夜	単価確認、建築視察調査→資料整理 打ち合わせ 団内打ち合わせ T＋T打ち合わせ（現地自然条件調査）
23	8月9日（火）	午前　教育局 　　外務省 フナフティ13:15→スバ16:30	教育大臣表敬挨拶および現地調査終了報告 挨拶および現地調査終了報告（副首相）
24	8月10日（水）		ＪＩＣＡ報告・大使館報告、建築材料単価調査、ＵＳＰ視察、ＡＩＤＡＢ報告、ＵＮＤＰ報告、ＳＯＰＡＣにて資料収集
25	8月11日（木）	スバ→ナンディ（陸路）	
26	8月12日（金）	ナンディ (8:50) →オークランド (11:55)	自然条件調査委託契約（ＮＺのＴ＋Ｔ社と）
27	8月13日（土）	オークランド (9:35) →成田 (7:15)	（波多野、井島、土井、林田）帰国

ヴァイトゥプ島調査経緯記録（7月25日～30日／井島・林田・土井滞在時）

日順	年月日		調査業務の概要
8	8／25（月）	午前	山下書記官、向井団長、波多野、Mr Penehuroフナフティへ 建物配置実測（一般教室棟、理科教室棟、校長宿舎、南側敷地境界付近）
		午後	同上（食堂／厨房、男子寄宿舎）
9	8／26（火）	午前	同上（家庭科棟、社会科学棟（一般教室）、女子寄宿舎）
		午後	同上（D Class Housing、北側敷地境界付近）、校長に対しQuestionnaireのモトファウア校に関する項目につき回答を依頼。建物リスト等の記入を再依頼。
10	8／27（水）	午前	建物実測用の野帳作成 学生と共に昼食
		午後	建物実測用の野帳作成
11	8／28（木）	午前	建物実測（一般教室棟、理科教室棟）
		午後	同上（Power House、マニアパ棟） 職員会議の後、学校職員主催のDinner Party
12	8／29（金）	午前	学校広場（リソースセンター周辺）建物リストに築造年を記入したものを受領、他の質問事項の解答作成を再々依頼
		午後	貯水タンクおよび東側敷地境界付近（校門付近）位置確認 校長主催のフェアウェルパーティ
13	8／30（土）	午前	フナフティへ向け定刻出航

(2) 基本設計調査，ドラフト説明（1994年9月22日～10月16日）

日順	年月日	行　程	調査業務の内容
1	9月22日（木）	成田（20:00）→ナンディ（7:30）	
2	9月23日（金）	ナンディ（9:45）→スバ（10:20） 日本大使館 JICA Fiji 事務所 スバ（17:00）→ナンディ（17:35）	 表敬訪問、打合せ 表敬訪問、打合せ
3	9月24日（土）	ナンディ（8:00）→フナフティ（11:00） 教育局	 保健スポーツ人材開発省、教育局と協議
4	9月25日（日）	フナフティ島内類似施設	類似施設視察調査 団内協議
5	9月26日（月）	午前　首相 Office 　　　教育局 午後	表敬訪問 表敬訪問 トゥ国側関係者との全体協議
6	9月27日（火）	午前 午後	TEC（Tuvalu Electrical Coorperation）との協議 （Mr.Tomasi Tafia／TEC, Mr.Penehuro and Mr.David／Education Dept.） 負担経費に関する協議 （Mr.Tine Leuelu／Acting Secretary of Finance, Mr.Aunese Simati／Acting Director of Planning, Mr.Penehuro, Mr.David） PWDとの協議 （Mr.Tapaeko Apisai／Acting Director of Works, Mr.Filipo Taulima／Acting Deputy Director of Works, Mr.Penehuro, Mr.David）
7	9月28日（水）	午前 午後 フナフティ（13:45）→ナンディ（16:55） ナンディ（18:30）→スバ（19:05）	Minutes of Discussion の調印 （Hon Kamuta Latasi 首相と西本団長サイン） 機材に関する協議 （Mr.Penehuro, Mr.David／教育局 波多野、土井／日方コンサルタント） （官側／西本団長、西木）移動
8	9月29日（木）	午前　教育局 　　　内閣 午後　USP 　　　TEC 　　　日本大使館、JICA Fiji 事務所 　　　UNDP	機材リストに関する協議、承認 （Mr.Penehuro, Mr.David／教育局 波多野、土井／日方コンサルタント） 内閣に対し、B／D案のプレゼンテーション （首相、大蔵大臣、水産大臣他） 視察調査（教育家具等） Generator の件の説明回答提出 （官側／西本団長、西木）表敬訪問 （官側／西本団長、西木）説明、協議

日順	年月日	行　程	調査業務の内容
9	9月30日（金）	午前　教育局 フナフティ（12:15）→ナンディ（15:25） スバ（15:25）→オークランド（16:25）	最終協議 PWDより建築関係の資料等受理 （官側／西本団長、西木）移動
10	10月1日（土）	オークランド（9:35）→成田（17:15）	資料及び打合せ記録整理 （官側／西本団長、西木）帰国
11	10月2日（日）	ナンディ（9:45）→スバ（10:20）	（波多野、土井）移動 資料及び打合せ記録整理
12	10月3日（月）	午前　日本大使館、JICA Fiji 事務所	（波多野、土井）挨拶、報告 補追調査（Fiji 調達予定材、家具類のコスト再確認他）
13	10月4日（火）	スバ（17:30）→ナンディ（18:05）	補追調査 （波多野、土井）移動
14	10月5日（水）	ナンディ（7:20）→オークランド(11:15)	（波多野、土井）移動 測量業者と協議（地質調査結果等確認）
15	10月6日（木）	オークランド（12:20）→成田（19:15）	（波多野、土井）帰国

資料３　面談者リスト

(1) 基本設計調査（1994年７月18日～８月13日）

〈トゥヴァル国側〉

1) Ministry of Health, Sports and Human Resources Development

Faimalaga Luka	Minister
Afelee Piita	Secretary
Misalaima Nelesone	Assistant Secretary
Penehuro Hauma	Director of Education
David Manuella	Curriculum Officer
Vinaka Ielemia	Acting Education Officer

2) Ministry of Works, Transport and Communications

Pokia Tihala	Assistant Secretary
Tapaeko Apisai	Acting Director of Works
Sio Patiale	Director of Marine & Port Services
Lopati Tefoto	General Manager, Telecom
Ken Taylor	Engineering Manager, Telecom
Santia Maluofena	Director of Fishery Department

3) Ministry of Natural Resources

Simeti Lopati	Secretary
Vavao Saumanaia	Local Government Officer
Faatasi Malologa	Lands Officer

4) Office of the Prime Minister

Lina Petaia	Assistant Secretary for Foreign Affairs

5) Ministry of Finance and Economic Planning

Lutelu Faavae	Acting Secretary
Aunese Simati	Director of Planning
Kausea Natano	Director of Customs and Taxation Control
Mose Saitala	Secretary of Finance

6) Public Works Department

Apisai Tapaeko	Acting Director

7) Tuvalu Telecommunications Corporation

Ken Tailor	Manager Engineering

8) Funafuti Primary School

Natano	Principal

9) Motufoua Secondary School

Galiga Muluofenua	Acting Principal

10) Amatuku Maritime School

Wolfgang Schnader	Captain

11) Fetuvalu Secondary School

	Principal

12) UNDP

Parviz C. Fartash	Assistant Resident Representative
Linda Petersen	

13) AIDAB

Chris Wheeler	First Secretary
Dereck Rooken-Smith	Counsellor

14) USP Extension Centre

Pafni Nouarta	Centre Director

15) SOPAC (South Pacific Applied Geoscience Commission)

Jackson Lum	Marine Geologist

〈日 本 側〉

1) 在フィジー日本大使館

菊 池 康 典	大 使
大 西 裕 之	書記官
山 下 誠	書記官
鎌 田 康 彦	書記官

2) 在フィジー国際協力事業団事務所

渡 辺 肇	所 長

3) 国際協力事業団・在トゥヴァル派遣専門家

伊 藤 久 成	水産機関専門家

4) ㈶海外漁業協力財団

寺 前 公 衛	水産専門員
藤 田 克 二	水産専門員

(2) 基本設計調査，ドラフト説明（1994年9月22日～10月6日）

〈トゥヴァル国側〉

1) Office of the Prime Minister

Tauaasaa Taafaki	Secretary to Government
Saufatu Sopoaga	Deputy Secretary to Government

2) Ministry of Health, Sports and Human Resources Development

Penehuro Hauma	Director of Education
David Manuella	Senior Education Officer／Curriculum Officer
Misalaima Nelesone	Acting Secretary

3) Ministry of Works, Labour and Communications

Afelee Piita	Secretary
Tapaeko Apisai	Acting Director of Works
Filipo Taulima	Acting Deputy Director of Works

4) Ministry of Foreign Affairs and Economic Planning

Eseta Lauti	Acting Secretary
Aunese Simati	Acting Director of Planning
Elena Levi	Acting Director of Budget

5) Ministry of Finance, Commerce and Public Corporation

Tine Leuelu	Acting Secretary for Finance
Solofa Uota	Acting Assistant Secretary for Finance

6) Ministry of Commerce, Trade and Industry

Lutelu Favae	Acting Secretary for Commerce and Trade

7) Tuvalu Telecommunications Corporation

Lopati Tefoto	General Manager

8) Tuvalu Electricity Corporation

Tomasi Tafia	General Manager

9) Tuvalu Development Bank

Simeona Iosia	General Manager

資料4　Minutes of Discussions (Basic Design Survey)

Minutes of Discussions
on the Basic Design Study
on the Project for Upgrading and Expansion of
Educational Facilities at Motufoua Secondary School in Tuvalu

In response to a request from the Government of Tuvalu, the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for Upgrading and Expansion of Educational Facilities at Motufoua Secondary School in Tuvalu (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the study to Japan International Cooperation Agency (JICA).

JICA sent to Tuvalu a Basic Design Study Team headed by Mr. MUKAI, Ichirou, Second Basic Design Study Division, Grant Aid Study and Design Department, JICA, and is scheduled to stay in Tuvalu from the 20th of July to the 9th of August, 1994.

The team held a series of discussions with the officials concerned of the Government of Tuvalu, and conducted field survey at the study area.

As a result of discussions and field survey, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

Funafuti, the 27th of July, 1994

MUKAI, ICHIROU
Leader,
Basic Design Study Team, JICA

FAIMALAGA LUKA
Minister,
Ministry of Health, Sports, and
Human Resources Development,
TUVALU

1. OBJECTIVES OF THE PROJECT

The objectives of the Project are to contribute to human resource development of Tuvalu, and to foster further self-reliance of Tuvalu citizens by up-grading and expanding the educational facilities and equipment of Motufoua Secondary School, the only public institute for secondary education in Tuvalu.

2. PROJECT IMPLEMENTING AGENCY

The Education Department is to be the implementing agency of the Project.

3. PROJECT SITE

The Project site is located on the Vaitupu island of Tuvalu, which is shown in Annex 1.

4. OWNERSHIP OF THE FACILITIES AND EQUIPMENT PROVIDED UNDER JAPAN'S GRANT AID

The facilities and equipment provided under Japan's Grant Aid (hereinafter referred to as "the Grant") shall be a property of the Government of Tuvalu.

5. CONTENTS OF THE REQUEST BY THE TUVALU SIDE FOR THE GRANT

1) After a series of discussions, the Tuvalu side finally requested the contents shown in Annex 2 for the Grant. However, the contents of the Project, which are to be recommended in the Basic Design Study Report, will be finalized after futher study by the Team.
2) Regarding the "seawall" which was originally requested, the Tuvalu side finally agreed to exclude it from the content of the Project, as there found no substancial damage caused by tidal surge in these twenty years.
3) The Tuvalu side strongly requested the Team to include "staff-quarter" in the said content, even though it fully understood the system of the Japan's Grant Aid.

6. CHARACTERISTICS OF THE JAPAN'S GRANT AID PROGRAMME, AND NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE TUVALU SIDE

The Tuvalu side understood the system and characteristics of the Grant

explained by the Team including the following matters.

1) The Grant is extended in the form of financial assistance which makes available the funds for procuring services and products necessary for implementing the Project defined in the "Exchange of Notes" (E/N).
Therefore the usage of the fund provided under the Grant is stricly limited by the stipulation of E/N.
2) A Project assisted by the Grant must be implemented under "Japanese single - year budget system". This means that all the project cycle, from signing on E/N to the final payment, must be, as a rule, completed within the same Japanese Fiscal Year.
3) For smooth implementation of the Project, a consulting firm that was selected by JICA for the Basic Design Study will be employed, in principle, as the Project Consultant by the Tuvalu side.
4) The Tuvalu side shall conclude the contract(s) with Japanese company(-ies) for implementing the Project. Furthermore, all such contract(s) to be concluded shall be verified by the Ministry of Foreign Affairs of Japan through JICA.
5) Procuring services and products for implementing the Project shall be executed in accordance with the "GUIDELINES FOR PROCUREMENT UNDER THE JAPANESE GRANT, 1991, JICA".
6) As the Grant is a "Co-operation" programme, the Tuvalu side should take necessary measures which are not covered by the Grant for the realizaiton and smooth implementation of the Project. Such necessary measures to be taken by the Tuvalu side are described in Annex 3.

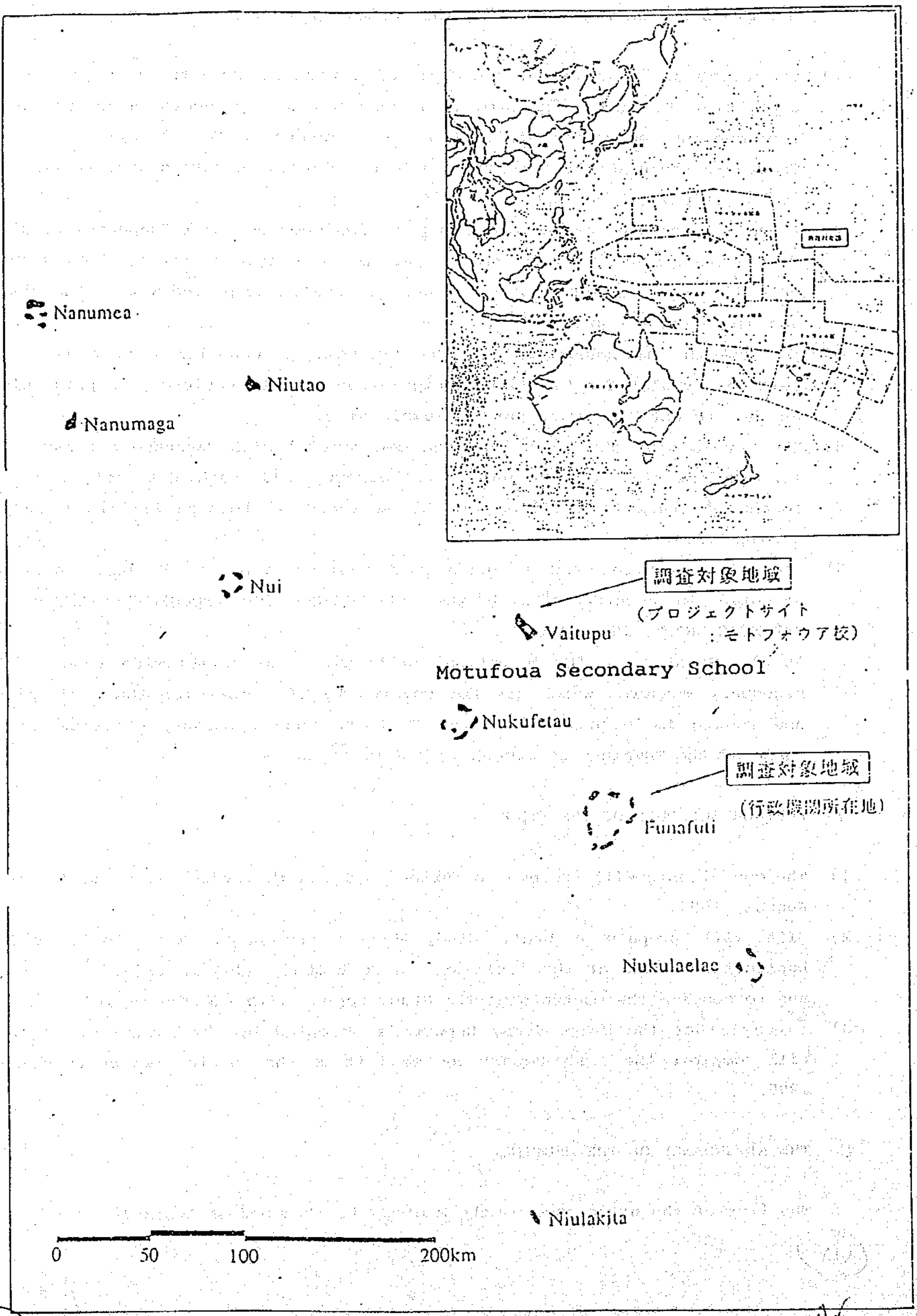
7. FURTHER SCHEDULE OF THE STUDY

1) The consultants will proceed to further studies in Tuvalu until the 9th of August, 1994.
2) JICA will prepare a Draft Study Report and dispatch a Draft Report Explanation Team, at the earliest, in September, 1994 in order to explain and to confirm the contents of the Study Report with the Tuvalu side.
3) In case that the Draft Study Report is accepted by the Tuvalu side, JICA will complete the Study Report and send it to the Tuvalu side by February, 1995.

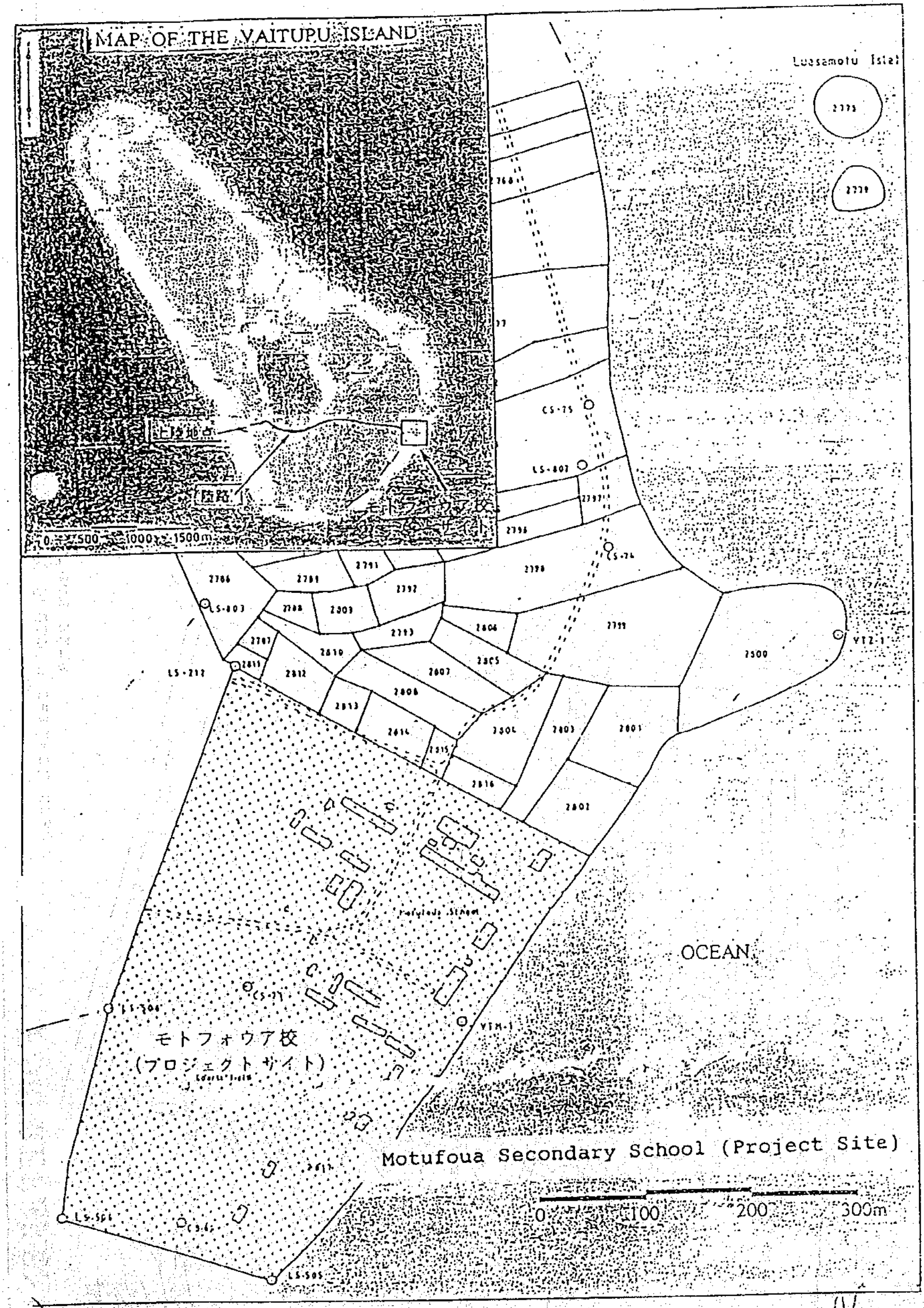
8. THE ATTENDANCE OF THE MEETING

The list of the attendance of the meeting is attached as Annex 4.

ANNEX 1 PROJECT SITE



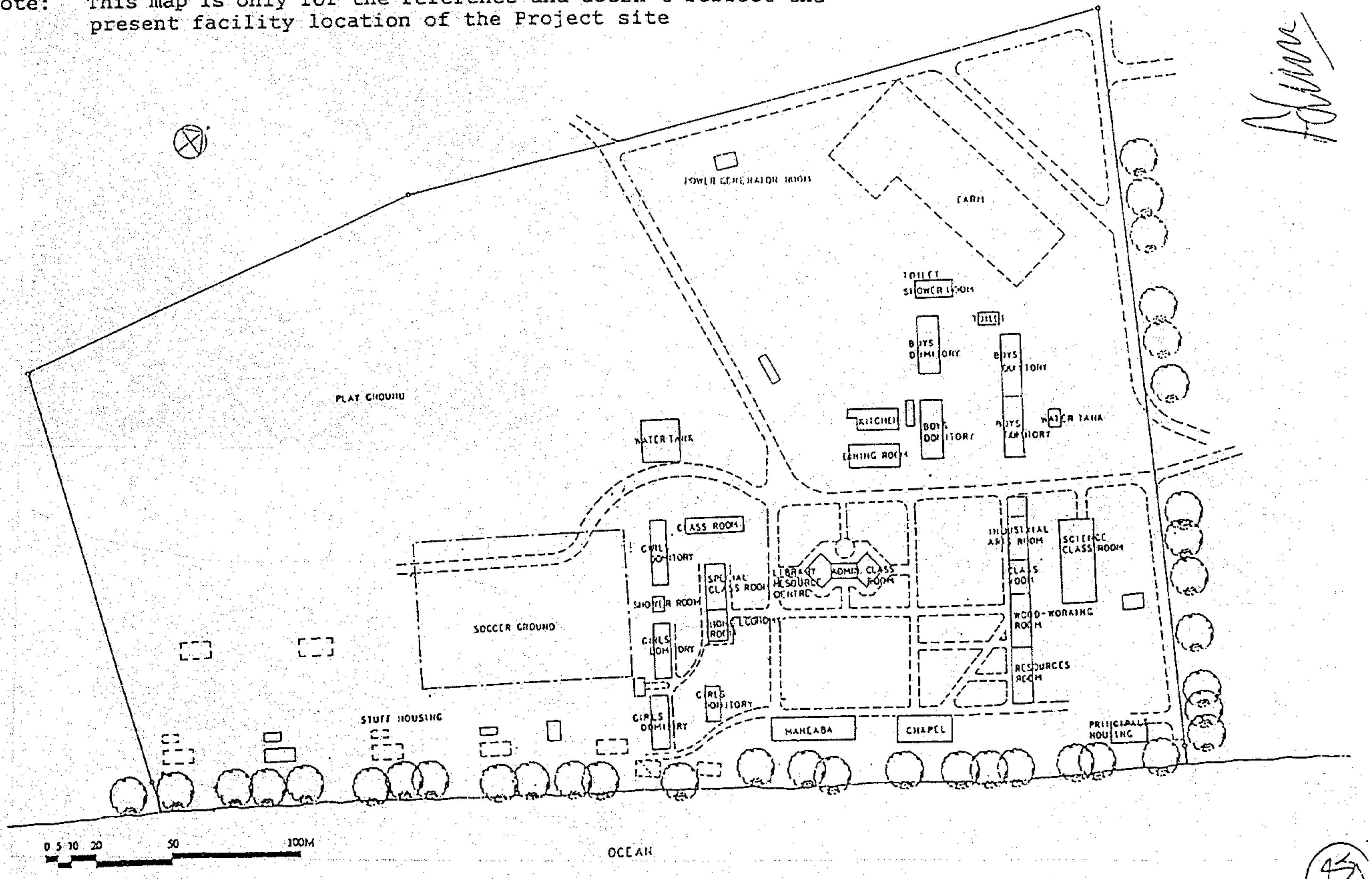
調査対象地域図 （日本とトゥヴァル国の位置関係）



現地調査対象地域　(プロジェクトサイト)

FOR REFERENCE

Note: This map is only for the reference and doesn't reflect the present facility location of the Project site



UPGRADING AND EXPANSION OF EDUCATIONAL FACILITIES AT MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIO

Title: SITE PLAN

ANNEX 2   CONTENTS OF THE REQUEST FOR JAPAN'S GRANT AID

The contents of the request finally submitted by the Tuvalu side are as follows in the order of priority.

1. Classroom (general/special)
2. Students dormitory
3. Dining hall and kitchen
4. Administration office
5. Medical/first aid room/sick bay
6. Gymnasium
7. Staff-quarter
8. Multi-purpose hall (Maneapa)
9. Tennis court/volleyball court/basketball court

Note:

1. Both sides confirmed that each item mentioned above includes the necessary utility such as electricity, water cisterns as well as equipment. The detail of such utility and equipment will be discussed between the consultants and the Tuvalu side.

2. The Tuvalu side understood that the construction and/or installation of road, street lighting and fencing, within the school campus, would be borne by the Tuvalu side in principle. However, the Tuvalu side further requested the Team to apply such principle flexibly, taking the budget condition of the Tuvalu Government into consideration.

ANNEX 3 NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE TUVALU SIDE

Following necessary measures shall be taken by the Government of Tuvalu on condition that the grant is extended to the Project.

1. To provide data and information necessary for the project;

2. To secure, clear, level and reclaim the site for the Project prior to the Project implementation;

3. To provide proper access road to the Project;

4. To undertake incidental outdoor works, such as gardening, fencing, exterior lighting, and other incidental facilities in and around the Project site, if necessary;

5. To bear two kinds of commissions to the Japanese Foreign Exchange Bank for its banking services based upon the Banking Arrangement namely,
   - the advising commission of the "Authorisation to Pay" and
   - the payment commission;

6. To ensure prompt unloading, tax exemption, and customs clearance at the port of disembarkation in Tuvalu and prompt internal transportation therein of the materials and equipment for the Project purchased under the Grant;

7. To exempt Japanese juridical and physical nationals engaged in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in with respect to the supply of the products and services under the verified contract;

8. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of products and services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into Tuvalu and stay therein for the performance of their work;

9. To provide necessary permissions, licenses, and other authorization for implementing the Project, if necessary.

10. To assign appropriate budget and teaching and administrative staff for proper and effective operation and maintenance of facilities and equipment provided under the Grant; and

11. To bear all the expenses other than those to be borne by the Grant within the scope of the Project.

ANNEX-4

LIST OF THE PARTICIPANTS IN THE ROUND TABLE MEETING
BETWEEN THE JAPANESE BASIC STUDY TEAM AND THE
GOVERNMENT OF TUVALU SELECTED DEPARTMENTS/MINISTRY (IES).

PARTICIPANTS:

A) JAPANESE BASIC STUDY TEAM:

1.	MUKAI Ichiro	LEADER, JICA STUDY TEAM
2.	YAMASHITA Makoto	SECRETARY, EMBASSY OF JAPAN, SUVA.
3.	HATANO Tetsuji	MEMBER, JICA STUDY TEAM
4.	IJIMA Hiroshi	"
5.	DOI Yasumichi	"
6.	HAYASHIDA Kenichi	"

B. MINISTRY OF HEALTH, SPORTS AND HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT.

1.	Faimalaga LUKA	MINISTER
2.	Afelee PIITA	SECRETARY
3.	Misalaima NELESONE	ASSISTANT SECRETARY
4.	Penehuro HAUMA	DIRECTOR OF EDUCATION
5.	David MANUELLA	CURRICULUM OFFICER
6.	Vinaka IELEMIA	ACTING EDUCATION OFFICER

C. MINISTRY OF WORKS, TRANSPORT AND COMMUNICATIONS

1.	Pokia TIHALA	ASSISTANT SECRETARY
2.	Tapaeko APISAI	ACTING DIRECTOR OF WORKS
3.	Sio PATIALE	DIRECTOR OF MARINE & PORT SERVICES
4.	Lopati TEFOTO	GENERAL MANAGER, TELECOM
5.	Ken TAYLOR	ENGINEERING MANAGER, TELECOM

D. MINISTRY OF NATURAL RESOURCES

1.	Simeti LOPATI	SECRETARY
2.	Vavao SAUMANAIA	LOCAL GOVERNMENT OFFICER
3.	Faatasi MALOLOGA	LANDS OFFICER

E. OFFICE OF THE PRIME MINISTER

1.	Lina PETAIA	ASSISTANT SECRETARY FOR FOREIGN AFFAIRS

F. MINISTRY OF FINANCE AND ECONOMIC PLANNING

1.	Lutelu FAAVAE	ACTING SECRETARY
2.	Aunese SIMATI	DIRECTOR OF PLANNING
3.	Kausea NATANO	DIRECTOR OF CUSTOMS AND TAXATION CONTROL

G. MOTUFOUA SECONDARY SCHOOL

1.	Galiga MALUOFENUA	ACTING PRINCIPAL

Minutes of Discussions on the Basic Design Study on the Project for Upgrading and Expansion of Educational Facilities at Motufoua Secondary School in TUVALU (Draft Report Explanation)

From the 20th July to the 9th August,1994, the Japan International Cooperation Agency (JICA) dispatched a Basic Design Study Team on the Project for Upgrading and Expansion of Educational Facilities at Motufoua Secondary School in TUVALU (hereinafter referred to as "the Project"),to TUVALU, and through discussions, field surveys, and technical examination of the results in Japan, has prepared the Draft Study Report.

In order to explain and to consult the TUVALU side on the components of the Draft Study Report, JICA sent to TUVALU a Draft Report Explanation Team headed by Mr. NISHIMOTO Toshiyuki, Grant Aid Division, Economic Cooperation Bureau, Ministry of Foreign Affairs, and stay in the country from the 24th to the 30th of September,1994.

As a result of discussions, both parties agreed the main items described on the attached sheets.

Funafuti, the 28th September,1994

西本俊幸

NISHIMOTO, Toshiyuki
Leader,
Draft Report Explanation Team,
JICA

HON KAMUTA Latasi
Prime Minister and
Acting Minister of Health,
Sports and Human Resource
Development,
TUVALU

A T T A C H M E N T

1. CONTENTS OF THE DRAFT STUDY REPORT
   The TUVALU Government has agreed and accepted in principle the components of the Draft Study Report proposed by the Team.

2. CHARACTERISTICS OF THE JAPAN'S GRANT AID PROGRAMME
   The TUVALU side has understood the system and characteristics of Japan's Grant Aid Programme explained by the Team including following matters.

1) Japan's Grant Aid is extended in the form of financial assistance which makes available the funds for procuring services and products necessary for implementing the project defined in "Exchange of Notes" (E/N). Therefore the usage of the fund provided under the Japan's Grant is strictly limited by the stipulation of E/N. .
2) A Project assisted by the Japan's Grant Aid must be implemented under "Japanese single-year budget system". This means that the project cycle must be, as a rule, completed, from signing on E/N to the final payment, within the same fiscal year in which the E/N signed.
3) For smooth implementation of a Project, a consulting firm that was selected by JICA for the Basic Design Study will be recommended as a Project Consultant to the TUVALU side by JICA.
4) The TUVALU side will conclude the contract for implementing the Project with Japanese company (-ies). And all such contract to be concluded shall be verified by the Ministry of Foreign Affairs of Japan through JICA.
5) Procuring services and products for implementing the Project shall be executed in accordance with "GUIDELINES FOR PROCUREMENT UNDER THE JAPANESE GRANT, 1991, JICA".

3. NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE TUVALU SIDE
   The Government of TUVALU will take necessary measures described in Annex for smooth implementation of the Project on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project.

4. FURTHER SCHEDULE OF THE STUDY
   JICA will complete the STUDY REPORT and send it to the TUVALU side by February, 1995.

ANNEX NECESSARY MEASURES TO BE TAKEN BY THE TUVALU SIDE

Following necessary measures should be taken by the Government of TUVALU on condition that the Grant Aid by the Government of Japan is extended to the Project:

1. To provide data and information necessary for the Project;
2. To secure, clear, level and reclaim the site for the Project prior to the Project implementation;
3. To provide proper access road to the Project area;
4. To undertake incidental outdoor works, such as gardening, fencing, exterior lighting, and other incidental facilities in and around the Project site, if necessary;
5. To bear commissions to the Japanese foreign exchange bank for its banking services based upon the Banking Arrangement, namely the advising commission of the "Authorization to Pay" and payment commission;
6. To ensure prompt unloading, tax exemption, customs clearance at the port of disembarkation in TUVALU and prompt internal transportation therein of the materials and equipment for the Project purchased under the Grant Aid;
7. To exempt Japanese juridical and physical nationals engaged in the Project from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in TUVALU with respect to the supply of the products and services under the verified contracts;
8. To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into TUVALU and stay therein for the performance of their work;
9. To provide necessary permissions, licenses and other authorizations for implementing the Project, if necessary;
10. To assign appropriate budget and teaching and administrative staff members for proper and effective operation and maintenance of equipment provided under the Grant Aid;
11. To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and the equipment provided under the Project; and
12. To bear all the expenses, other than those to be borne by the Japan's Grant Aid within the scope of the Project.

資料6 Prime Minister Speech 原文

- MR NISHIMOTO, LEADER OF THE SECOND JAPANESE BASIC DESIGN TEAM, AND YOUR DISTINGUISHED TEAM MEMBERS IN MR NISHIKI, MR HATANO AND MR DOI.
- ACTING SECRETARY FOR HEALTH SPORTS AND HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT,
- GENTLEMEN.

I AM PLEASED AND INDEED HONOURED TO BE HERE ON THIS IMPORTANT OCCASION TO SIGN THE MINUTES OF THE DRAFT REPORT OF DELIBERATIONS BETWEEN THE GOVERNMENTS OF JAPAN AND TUVALU ON THE UPGRADING OF MOTUFOUA FACILITIES PROJECT, NOT ONLY IN MY CAPACITY AS ACTING MINISTER OF THE MINSTRY OF HEALTH, SPORTS AND HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT BUT ALSO AS PRIME MINISTER OF THE COUNTRY AS A WHOLE.

AS YOU ARE AWARE GENTLEMEN, GIVEN THE VERY SMALL AND POOR ECONOMIC BASE OF TUVALU, OUR ONLY VIABLE RESOURCE OF ANY SIGNIFICANCE IS OUR PEOPLE; HENCE OUR PRIORITY EMPHASIS ON THE DEVELOPMENT OF OUR MANPOWER REQUIREMENT AND OVERALL HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT.

TO UNDERTAKE CREDIBLE HUMAN RESOURCE DEVELOPMENT IN THE PRESENT AGE OF ADVANCE AND COMPLICATED TECHNOLOGY, EVEN TRAINING IN LOCAL SKILLS, CONSIDERABLE RESOURCES FOR THE BASIC INFRASTRUCTURE, TECHNICAL AND SUPPORT STAFF REQUIREMENTS ARE NEEDED. I AM THEREFORE PARTICULARLY HAPPY THAT JAPAN IS SERIOUSLY CONSIDERING BECOMING A MAJOR PARTNER IN THIS PRIORITY AREA OF DEVELOPMENT.

THE SIGNING OF MINUTES OF YOUR DELIBERATIONS WITH SENIOR OFFICERS OF MY GOVERNMENT IN THE PAST THREE DAYS TAKES US CLOSER TO THE REALISATION OF OUR TWO GOVERNMENTS' AIMS OF PARTNERSHIP IN EDUCATIONAL DEVELOPMENTS.

I NOTE THAT THE MINUTES CONTAINS THE COMMITMENTS JAPAN CONSIDERS TO UNDERTAKE UNDER THE MOTUFOUA UPGRADING PROJECT. BASICALLY IT INCLUDES THE CONSTUCTION OF:

- NEW DORMITORIES FOR 150 GIRLS AND 150 BOYS;
- FOURTEEN NEW SPECIAL AND GENERAL CLASSROOMS;
- A NEW ADMINISTRATION BUILDING, COMPUTER ROOM, SICK BAY AND STAFFROOM;
- A NEW KITCHEN AND DINING HALL WITH DINING CAPACITY FOR 600 STUDENTS;
- A 600 CAPACITY GYMNASIUM WITH INDOOR VOLLEYBALL AND BASKETBALL FACILITIES;
- 10 NEW STAFF HOUSES;
- NEW GENERATOR(S);
- A LARGE NUMBER OF ESSENTIAL FACILITIES AND EDUCATIONAL EQUIPMENT;
- THE RENOVATION OF EXISTING SCHOOL BUILDINGS AND DORMITORIES.

I AM ALSO AWARE THAT IN OUR PARTNERSHIP IN DEVELOPMENT, AND IN THE SPIRIT OF COOPERATION, MY OFFICERS HAVE IDENTIFIED AREAS WHERE TUVALU COULD ALSO CONTRIBUTE TO THE PROJECT; THOUGH MODEST AGAINST THE SCOPE OF THE JAPANESE CONTRIBUTION, IT REPRESENTS A SUBSTANTIAL PORTION OF TUVALU'S GNP.

ALTHOUGH THIS PROJECT IS YET TO BE SUBMITTED TO THE JAPANESE CABINET FOR ITS FINAL CONSIDERATION, I BELIEVE THAT THE THOROUGHNESS AND DETAILED EXTENT OF THE DRAFT PROJECT DOCUMENT WITH ITS ILLUSTRATIONS AND THE BEAUTIFUL ARCHITECTURAL PICTURE MODELS WHICH YOUR TEAM HAS PUT TOGETHER, WILL GO A LONG WAY IN SOLICITING SUPPORT FOR THE FINAL APPROVAL OF THE PROJECT. I THEREFORE WISH TO CONGRATULATE YOU AND EXPRESS MY APPRECIATION OF THE HARD WORK YOU HAVE DONE IN PUTTING TOGETHER THE MASSIVE DRAFT REPORT DOCUMENT. IN THAT CONNECTION I ALSO WISH TO ACKNOWLEDGE THE CONTRIBUTION MADE BY THE PACIFIC CONSULTANTS INTERNATIONAL AND IN PARTICULAR I WISH TO THANK YOUR GOODSELF MR HATANO FOR PUTTING TOGETHER THE DESIGN FOR THE NEW EDUCATION HEADQUARTER BUILDING AT YOUR OWN TIME AND EXPENSES.

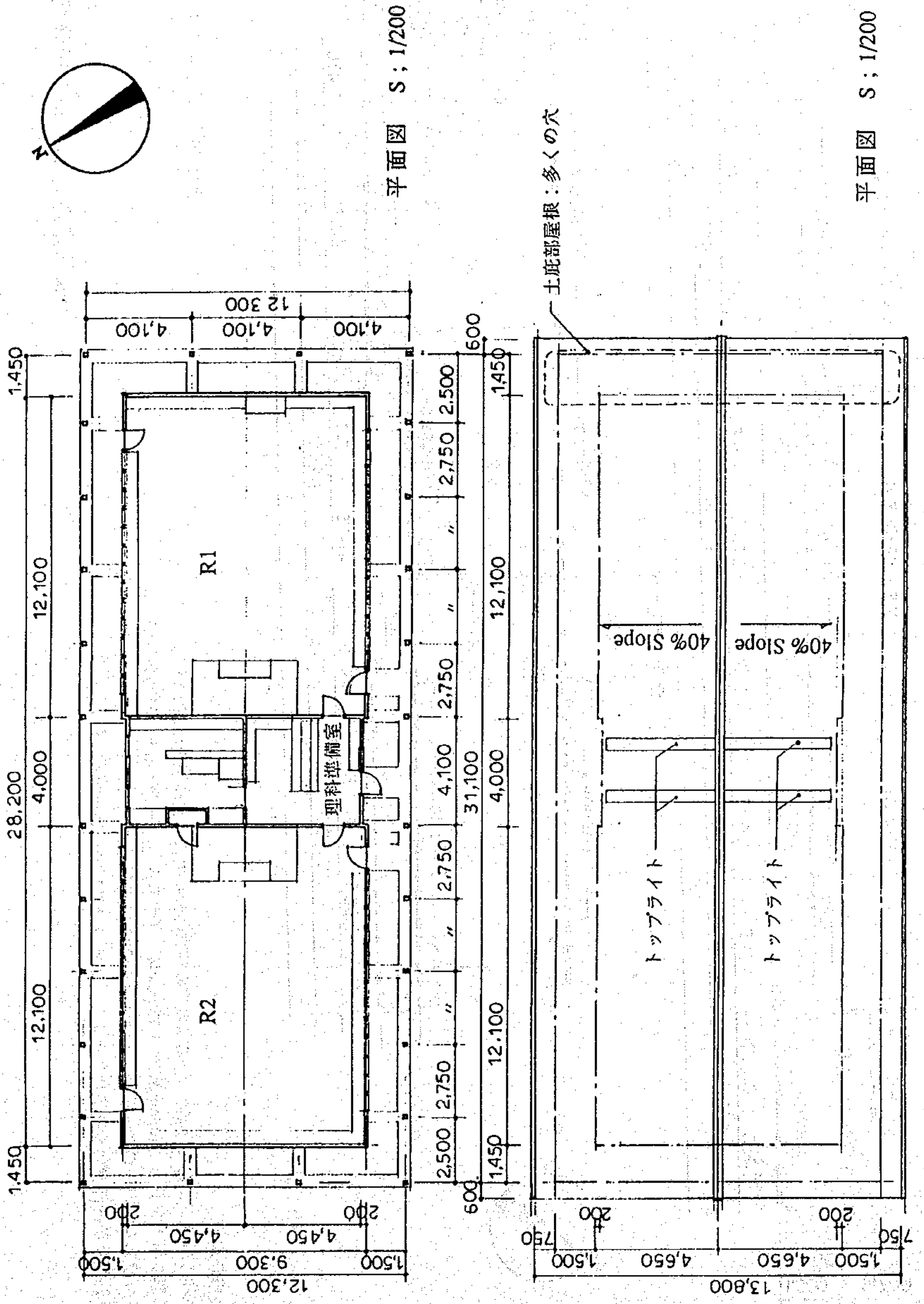
IN CONCLUSION, I WISH TO ASSURE YOU GENTLEMEN, AND THROUGH YOU, THE GOVERNMENT OF JAPAN, THAT MY GOVERNMENT WILL DO ITS UTMOST TO UPHOLD OUR COMMITTMENTS AND OBLIGATIONS TO THE PROJECT AS EXPRESSED IN THE MINUTES SIGNED THIS MORNING.

I REALISE THAT MR NISHIMOTO AND MR NISHIKI WILL BE LEAVING TUVALU THIS AFTERNOON; AND MR HATANO AND MR DOI WILL FOLLOW THEM THIS FRIDAY. I HOPE THAT YOUR SHORT STAY IN TUVALU HAS BEEN ENJOYABLE AND WOULD LIKE TO WISH YOU ALL A SAFE JOURNEY HOME. WE LOOK FORWARD TO MEETING YOU AGAIN IN THE FUTURE IN THE COURSE OF THE ANTICIPATED IMPLEMENTATION OF THE MOTUFOUA PROJECT.

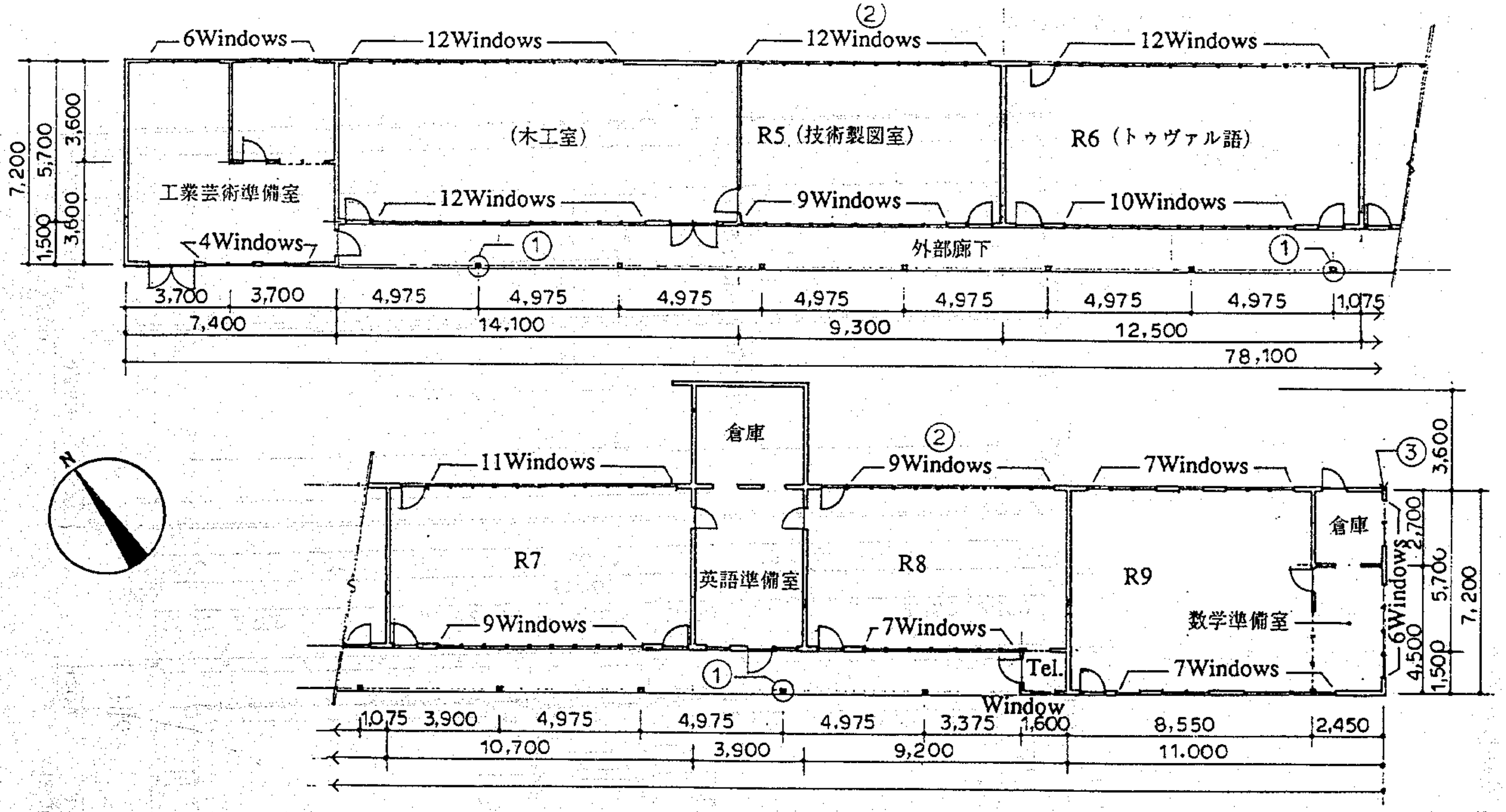
FAKAFETAI LASI.

TUVALU MO TE ATUA.

資料７　既存施設補修検討図



理科教室棟（R1、R2及び理科準備室）補修検討図



<破損状況>

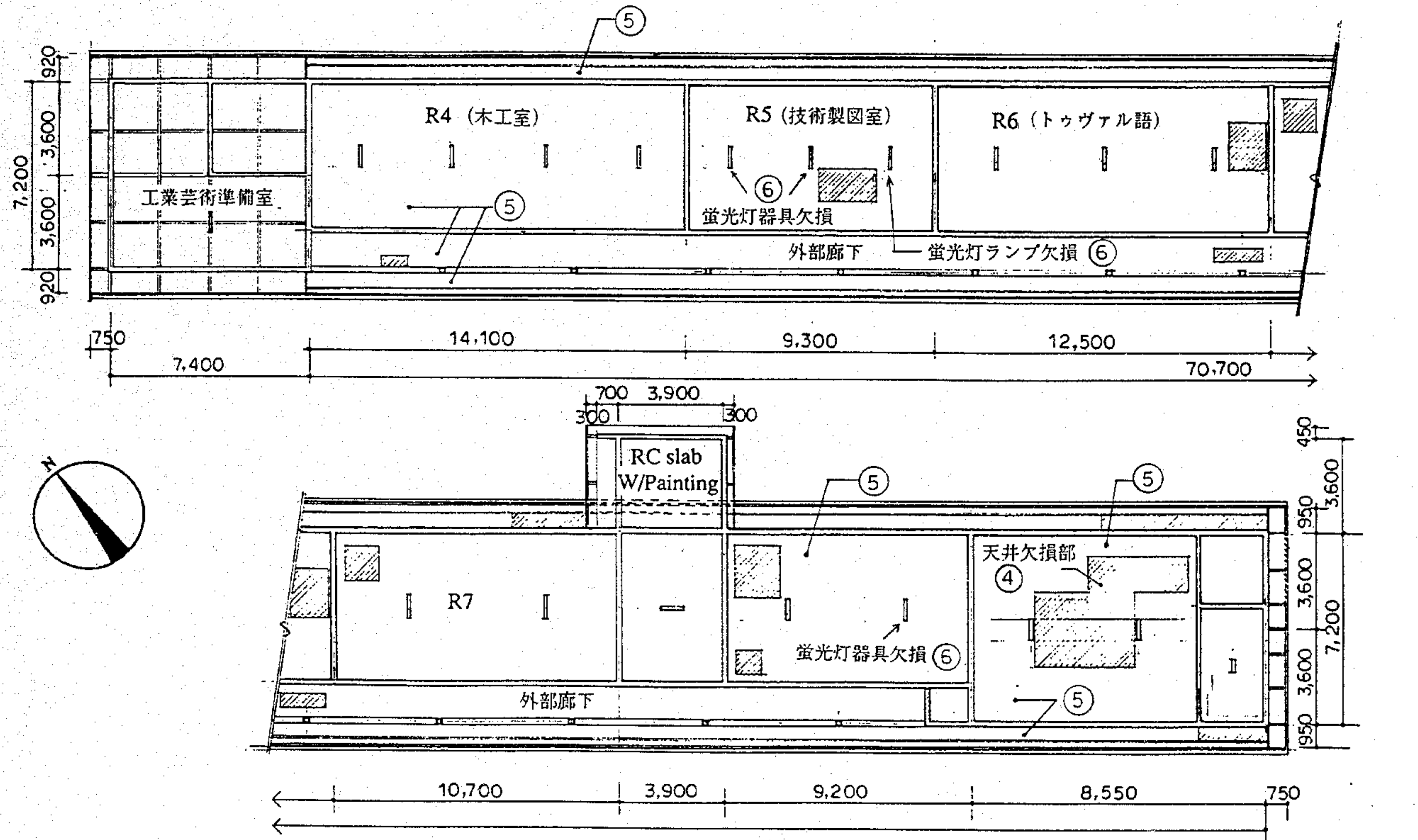
① 柱：外廊下にある11本中うち3本の柱の柱脚部分が欠損し鉄筋が現われている。

② 窓：ジャロジー（760mmW × 1,150mmH、ガラスルーバー / 8mmW）が136あるが、ガラスルーバーの50%程度、取付け金具の30%程度が欠損している。

③ 外部及び内部壁仕上：老朽化により、剥離及びひび割れ等が生じている。

平面図　S；1/200

一般教室棟（R4～R9）補修検討図 - 1



天井伏図　S；1/200

一般教室棟（R4～R9）補修検討図 - 2

<破損状況>

④ 屋根：屋根の止め釘が多く欠損している。

⑤ 天井及び軒天井：天井のテックスボードはたわみ、いくつもの穴が開いており、さらに一部欠損している。

⑥ 照明：40W18 本、20W1本の蛍光灯があるが、その内蛍光灯ランプ４本及び蛍光 灯器具１つが無くなっている。また、全てひどく錆びている。